愛媛県農業経営基盤強化促進	に関する基本方針新旧対照表
変更後	変更前
策定年月日 平成6年2月14日	策定年月日 平成6年2月14日
変更年月日 平成12年7月4日	変更年月日 平成12年7月4日
変更年月日 平成14年4月1日	変更年月日 平成14年4月1日 変更年月日 平成18年3月28日
変更年月日 平成18年3月28日	変更年月日 平成22年3月12日
変更年月日 平成22年3月12日	変更年月日 平成23年3月31日
変更年月日 平成23年3月31日	変更年月日 平成26年6月30日
変更年月日 平成26年6月30日 変更年月日 平成28年4月1日	変更年月日 平成28年4月1日
変更年月日 令和3年4月1日	変更年月日 令和3年4月1日
変更年月日 令和5年6月28日	変更年月日 令和5年6月28日
変更年月日 令和 年 月 日	
	亚亚田 曲 业业 47 半 60.74 7.70 4
多语目曲类公当甘愈沙儿口准	愛媛県農業経営基盤強化促進
愛媛県農業経営基盤強化促進	に関する基本方針(案)
に関する基本方針(案)	
令和 年 月	令和5年6月
	愛媛県
愛媛県	文 双 7

愛媛県農業経営基盤強化促進に関する基本方針新旧対照表

変 更 更 後 前 次 目 次 第1 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な方向 第1 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な方向 1 愛媛農業の現状と振興方針 1 愛媛農業の現状と振興方針 2 農業構造の実態 2 農業経営基盤強化の方向 3 農業経営基盤強化の方向・ 3 地带别振興方向 4 地带别振興方向 第2 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標 第2 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標 目標営農類型一覧表 目標営農類型一覧表 第3 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標 第3 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標 第4 農業を担う者の確保及び育成を図るための体制の整備その他支援の実施に関する事項 第4 農業を担う者の確保及び育成を図るための体制の整備その他支援の実施に関する事項 1 農業を担う者の確保及び育成方針 1 農業を担う者の確保及び育成方針 2 農業経営・就農支援センターの体制及び運営方針 2 農業経営・就農支援センターの体制及び運営方針 3 県の取組方針 3 県の取組方針 4 関係機関の連携・役割分担 4 関係機関の連携・役割分担 5 就農等希望者のマッチング及び農業を担う者の確保・育成のための情報収集・相互提供 5 就農等希望者のマッチング及び農業を担う者の確保・育成のための情報収集・相互提供 第5 効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標及びその「第5 効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標及びそ 他農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標 の他農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標 効率的かつ安定的な農業経営体が地域における農用地の利用に占める面積の 効率的かつ安定的な農業経営体が地域における農用地の利用に占める面積の シェアの目標 シェアの目標 第6 農業経営基盤強化促進事業の実施に関する基本的な事項 第6 農業経営基盤強化促進事業の実施に関する基本的な事項 農地中間管理機構が行う特例事業の実施に関する事項 第7 農地中間管理機構が行う特例事業の実施に関する事項

愛媛県農業経営基盤強化促進に関する基本方針新旧対照表

変 更 後	
農業地帯別目標営農類型基本的指標	
1 目標営農類型策定の前提条件 1 目標営農類型策定の前提条件	
2 沿岸・島しょ部農業地帯営農類型 2 沿岸・島しょ部農業地帯営農類型	
3 農山村農業地帯営農類型 3 農山村農業地帯営農類型	
4 平地農業地帯営農類型 4 平地農業地帯営農類型	
5 県全域(畜産)営農類型 5 県全域(畜産)営農類型	

変 更 後 変 更 変 更 す

第1 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な方向

1 愛媛農業の現状と振興方針

愛媛県は、東南に長く、瀬戸内海・宇和海に臨んだ 1,704 kmの長い海岸線と大小 200 余の島しょ部をもち、温暖な気候のもとに、果樹、畜産、米を基幹として多種多様な農産物の生産が行われている。特に沿岸地域や島しょ部で栽培されているかんきつ類の生産規模は全国一を誇るなど、西日本における有力な食料基地の役割を果たしている。

一方で、農業構造については、60歳未満の基幹的農業専従者のいる農家や新たに就農する若年労働力が減少する反面、高齢専業農家や後継者のいない農家が急速に増加する等ぜい弱な構造となっている。特に、農山村地域においては、過疎化の進行も相まって、荒廃農地が増加する等農地の維持のみならず、農村集落の機能の維持そのものが困難な地域もみられる。

このため、中山間地域が多く、担い手不足、荒廃農地の増大等の構造的な課題を抱えている本県においては、優れた経営感覚を備えた担い手を確保するとともに、農地中間管理機構を活用して担い手への農地の集積・集約化を図る取組みを一体的かつ積極的に進め、農業の構造改革を一層加速していく必要がある。また、農業・農村を担う若者を中心とした就農者を一人でも多く確保するため、自ら農業経営を開始しようとする青年等及び、農業法人等に就農しようとする青年等を、優れた農業経営者として育成し、個々の農家の担い手という問題にとどまらず、農業という産業の担い手、農村地域社会の担い手として育成確保するという観点に立ち、その取組をより一層推進するものとする。

さらには、近年の世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクが高まっており、国内の農業生産基盤の増大が必要とされる中で、本県においても将来にわたり食料を安定的に供給するため、生産基盤の高度化や生産振興、担い手の育成確保等、総合的に施策を展開し、農業生産基盤の強化を実現する。

第1 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な方向

1 愛媛農業の現状と振興方針

愛媛県は、東南に長く、瀬戸内海・宇和海に臨んだ 1,704 kmの長い海岸線と大小 200 余の島しょ部をもち、温暖な気候のもとに、果樹、畜産、米を基幹として多種多様な農産物の生産が行われている。特に沿岸地域や島しょ部で栽培されているかんきつ類の生産規模は全国一を誇るなど、西日本における有力な食料基地の役割を果たしている。

こうした中、平坦部が少なくそのほとんどが急傾斜地域である南予を中心とした沿岸地域と東・中予の島しょ部においては、適地適作を基本とした果樹生産を、集団的な農用地が一部の盆地を除いて少ない農山村地域においては、地域の基幹的産業として米、野菜、果樹、畜産等多種多様な農産物の生産を、また、都市化、工業化の発展に伴い他産業の就業機会が多くある東・中予の平坦地域においては、水田農業に加えて施設野菜・花き生産を、農業振興の柱として地域の実情に即した農業生産の展開を図っている。今後も、多様な立地条件を活かし、適地適作に基づき地域の実情を踏まえた振興策に取り組むことにより、農産物の需給動向に対応できる均衡のとれた供給産地を形成するものとする。

また、中山間地域が多く、担い手不足、荒廃農地の増大等の構造的な課題を抱えている本県においては、優れた経営感覚を備えた担い手を確保するとともに、農地中間管理機構を活用して担い手への農地の集積・集約化を図る取組みを一体的かつ積極的に進め、農業の構造改革を一層加速していく必要がある。そのため、農業生産の基盤である優良農地については、こうした動向に対応した生産物の流通条件、地域の農業就業構造等を考慮した農業振興地域整備計画に即し、その確保に努めるものとする。農業生産振興の基礎となる基盤整備については、農地中間管理機構との連携に配慮しつつ、その整備の向上を一層図ることとし、特に、麦・大豆等の対策にも対応した水田の汎用化や東・南予の平坦地域における大区画ほ場の整備、南予を中心とした沿岸地域と東・中予の島しょ部の急傾斜樹園地における園内作業道や多目的かんがい施設等の整備並びに園地の緩傾斜化、農山村地域における棚田の整備など、地域の実情に即したきめ細かな農業基盤の整備を担い手の育成と農地の集積に配慮しながら進めるものとする。

また、農業・農村を担う若者を中心とした就農者を一人でも多く確保するため、自ら農業経営を開始しようとする青年等及び、農業法人等に就農しようとする青年等を、優れた農業経営者として育成し、本県農業・農村の活性化を図るため、個々の農家の担い手という問題にとどまらず、農業という産業の担い手、農村地域社会の担い手たる青年等を育成確保するという観点に立ち、

- 新しく農業を志す就農希望者の掘り起こしから就農に至る過程のきめ細やかな支援
- 新たな就農者が優れた農業経営者として育つための支援
- 若者をはじめとした就農者が希望を持って定着するための環境づくりの支援
- 関係者が一体となった支援活動の強化

に取り組みながら、新規就農青年等の確保育成をより一層推進するものとする。

2 農業経営基盤強化の方向

(1) 構造再編の方向

本県農業が抱える問題に対処していくため、「えひめ農林水産業振興プラン」及び「愛媛県農業振興地 域整備基本方針」との整合性に留意しつつ、農業経営基盤の強化を促進するための措置を総合的に講じ、 本県農業の健全な発展を図るものとする。

具体的には、10年後に実現可能性のある目標とするため、地域において現に成立している優良な経営の事例を踏まえつつ、農業経営において他産業従事者と均衡する年間総労働時間(主たる従事者1人あたりおおむね2,000時間)の水準を達成しつつ、地域の他産業従事者並みの生涯所得に相当する年間農業所得(主たる従事者1人当たりの年間農業所得おおむね460万円)を確保したうえで、さらなる所得の向上に向けた取組に努め、効率的かつ安定的な農業経営体を育成するとともに、これらの農業経営体が地域における農業生産の相当部分を担うような農業構造の確立を目標とする。

新規就農青年等の確保育成にあたっては、担い手としての数の確保、経営体の担い手としての能力、めざすべき経営体の姿を明らかにして推進することとし、45歳以上65歳未満の中高年齢者についても、他産業従事経験等を活かし意欲的な者については、積極的に支援の対象とし、新規就農者(雇用就農者含む)を毎年180名確保することを目標とする。

また、自ら農業経営を開始しようとする青年等が目標とする経営の姿は、原則として、経営がおおむね軌道に乗る時点(就農後5年目)の経営規模及び所得水準が就農予定地の各市町が策定している農業経営基盤強化促進法に基づく市町「基本構想」の農業経営指標に示す水準を目標とするとともに、農業法人等に就農しようとする青年等の農業従事態様は、農業法人等の中核を担う人材として育成していくことを目的とし、就農者として実践的な農業技術を習得した時点(就農後5年目)の年間農業従事日数、就業内容、役職を目標として設定する。

さらに、当面効率的かつ安定的な農業経営体の確保・育成が困難である等地域の実情に即し、育成すべき農業経営体以外にも地域農業の維持・発展のために必要な多様な担い手像を明確にする。

2 農業構造の実態

愛媛県の農業構造については、60 歳未満の基幹的農業専従者のいる農家や新たに就農する若年労働力が減少する一方、高齢専業農家や後継者のいない農家が急速に増加する等ぜい弱な構造となっている。 特に、農山村地域においては、過疎化の進行も相まって、遊休農地が増加する等農地の維持のみならず、農村集落の機能の維持そのものが困難な地域もみられる。

3 農業経営基盤強化の方向

(1) 構造再編の方向

このような問題に対処していくためには、農業を今後とも愛媛県の基幹的産業として振興し、若者が 農業を魅力とやりがいのある職業として感じ地域に定着できるような、農業経営の目指すべき目標を 明らかにし、その実現に向けての施策を集中的かつ積極的に実施していくことが重要である。

このため、愛媛県は、「愛媛県農業振興地域整備基本方針」及び「えひめ農林水産業振興プラン 2021」との整合性に留意しつつ、効率的かつ安定的な農業経営体を育成するとともに、これらの農業経営体が農業生産の相当部分を担うような農業構造を確立するため、その目標に向けて農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対する農用地の利用の集積、これらの農業者の経営管理の合理化、増加傾向にある遊休農地及び今後遊休農地となるおそれがある農地(以下「遊休農地等」という。)の実態把握を通じた発生防止・解消その他農業経営基盤の強化を促進するための措置を総合的に講じ、本県農業の健全な発展を図るものとする。

具体的には、10 年後に実現可能性のある目標とするため、地域において現に成立している優良な経営の事例を踏まえつつ、農業経営において他産業従事者と均衡する年間総労働時間(主たる従事者1人あたりおおむね2,000時間)の水準を達成しつつ、地域の他産業従事者並みの生涯所得に相当する年間農業所得(主たる従事者1人当たりの年間農業所得おおむね450万円)を確保したうえで、さらなる所得の向上に向けた取組に努め、効率的かつ安定的な農業経営体を育成するとともに、これらの農業経営体が地域における農業生産の相当部分を担うような農業構造の確立を目標とする。

新規就農青年等の確保育成にあたっては、担い手としての数の確保、経営体の担い手としての能力、めざすべき経営体の姿を明らかにして推進することとし、1年間に130人の新規就農者を確保することを目標とし(ただし、農業法人等に就農しようとする青年等を除く。)、45歳以上65歳未満の中高年齢者についても、他産業従事経験等を活かし意欲的な者については、積極的に支援の対象とする。

また、自ら農業経営を開始しようとする青年等が目標とする経営の姿は、原則として、経営がおおむね軌道に乗る時点(就農後5年目)の経営規模及び所得水準が就農予定地の各市町が策定している農業経営基盤強化促進法に基づく市町「基本構想」の農業経営指標に示す水準を目標とするとともに、農業法人等に就農しようとする青年等の農業従事態様は、農業法人等の中核を担う人材として育成していくことを目的とし、就農者として実践的な農業技術を習得した時点(就農後5年目)の年間農業従事日数、就業内容、役職を目標として設定する。

さらに、当面効率的かつ安定的な農業経営体の確保・育成が困難である等地域の実情に即し、育成すべき効率的かつ安定的な農業経営体以外にも地域農業の維持・発展のために必要な多様な担い手像を明確にすることにより、本県農業の健全な発展を図るものとする。

(2) 構造再編の方法

この目標を達成するため、集落における話合いと農業者の自主性と創意工夫を基調として、関係機関・団体等の有機的な連携のもとに、次の諸事項について具体的な活動を行うものとする。

- ア 優良農地を確保するとともに、経営規模の拡大と経営改善を図り、経営管理の熟度に応じて農業経営 の法人化を促進する。
- イ 農業機械・施設の共同利用及び農作物の団地化、さらにはDXの現場実装により農作業の効率化を促進する。
- ウ 地域の特性に応じて各種農業基盤整備事業を活用して、生産性の向上を促進する。
- エ 高収益作物の導入及びその産地形成を推進するとともに、消費者・実需者の多様なニーズに対応するため、生産・加工・流通の一体化等農業の6次産業化に向けた取組を積極的に促進する。
- オ 新規就農者の受入れのために、地域の実態に応じた<mark>支援を</mark>、農業協同組合、各市町農業公社等を活かしながら推進し、地域をリードする農業者に育成する。

なお、規模の大きい先進的な法人経営体については、新規就農者(後日独立して農業経営を開始する 予定の者を含む。)の受け皿としても位置づけ、支援する。

- カ 女性農業者については、農業経営改善計画の共同申請の推進や集落営農組織への参加・協力を通じ、 女性の農業経営へのより一層の参画を促進する。
- キ 効率的かつ安定的な農業経営体と小規模な兼業農家、生きがい農業を行う高齢農家、土地持ち非農家等との間で役割分担を明確にし相互にメリットを享受できるよう、健全なコミュニティへの発展を図る。
- ク 新規就農青年等の確保育成にあたっては、就農候補者の募集から研修、経営定着・発展・継承に至る 各段階に応じた、きめ細かな施策を展開することとし、以下の取組を促進する。
 - (ア)農村青年のみでなく、農外からの新規参入者やUターン青年等を含め、幅広く就農を希望する人材 の発掘に努めるとともに、農業体験や営農のための実務研修等就農に至る過程に対する一貫した支援 活動を行う。
 - (4) 営農形態や農業従事態様の多様化に対応した、担い手を育成するため、就農準備を経て実際に就農し、経営の基礎を十分に固める段階や、就農者として実践的な農業技術を習得するに至るまでの個別のプログラムを作成し、濃密な指導助言を行い、職業意識や経営理念、経営構想力、問題解決能力、管理能力、リーダーシップの確保開発に努める。
 - (ウ)進んで就農できる環境づくりを推進するため、技術・経営・資金・農地・農村生活・仲間づくりや受入れ体制に関する情報の収集及び提供・相談活動を行う。
- (エ)希望と誇りをもって就農できる気運と環境を醸成するため、農業問題や後継者問題等について協議し、 対策を講じる支援活動の強化に努める。
- ケ 効率的かつ安定的な農業経営体の育成を基本としつつ、地域農業の維持・発展のため、県内各地域の 実態に即し、多様な担い手を以下のように位置づけ、その育成を図る。
 - (ア) 育成すべき効率的かつ安定的な農業経営体を補完する受託組織等 市町、農協等が参画した第3セクターやサービス事業体等の農作業受託組織については、農作業の

(2) 構造再編の方法

この目標を達成するため、集落における話合いと農業者の自主性と創意工夫を基調として、関係機関・団体等の有機的な連携のもとに、次の諸事項について具体的な活動を行うものとする。

前

更

- ア 優良農地を確保するとともに、地域の実情に応じて農業経営基盤強化促進事業、農地中間管理事業 及び農地中間管理機構が行う特例事業等を積極的に活用し、経営規模の拡大と経営改善を図り、経営 管理の熟度に応じて農業経営の法人化を促進する。
- イ 農業機械・施設の共同利用及び農作物の団地化により農作業の効率化を促進する。
- ウ 地域の特性に応じて、農地の区画の拡大、水田の汎用化、かんがい排水施設の整備など、各種農業 基盤整備事業を活用して、生産性の向上を促進する。
- エ 高収益作物の導入及びその産地形成を推進するとともに、消費者・実需者の多様なニーズに対応するため、生産・加工・流通の一体化等農業の6次産業化に向けた取組を積極的に促進する。
- オ 新規就農者の受入れのために、地域の実態に応じた、土地利用調整、技術研修、営農指導体制の整備を、農業協同組合、各市町農業公社等を活かしながら推進し、地域をリードする農業者に育成する。

なお、規模の大きい先進的な法人経営体については、新規就農者(後日独立して農業経営を開始する予定の者を含む。)の受け皿としても位置づけ、支援する。

- カ 女性農業者については、農業経営改善計画の共同申請の推進や集落営農組織への参加・協力を通じ、女性の農業経営へのより一層の参画を促進する。
- キ 効率的かつ安定的な農業経営体と小規模な兼業農家、生きがい農業を行う高齢農家、土地持ち非農家等との間で地域資源の維持管理、補助労働力の提供等の面での役割分担を明確にし相互にメリットを享受できるよう、連携協力していくことを通じて健全なコミュニティへの発展を図る。
- ク 新規就農青年等の確保育成にあたっては、就農候補者の募集から研修、経営定着・発展・継承に至る各段階に応じた、きめ細かな施策を展開することとし、以下の取組を促進する。
- (7) 意欲ある青年農業者等を一人でも多く確保し、地域への定着を促進するため、農村青年のみでなく、農外からの新規参入者やUターン青年等を含め、幅広く就農を希望する人材の発掘に努めるとともに、農業体験や営農のための実務研修等就農に至る過程に対する一貫した支援活動を行う。
- (4) 営農形態や農業従事態様の多様化に対応した、効率的かつ安定的な経営体の担い手を育成するため、就農準備を経て実際に就農し、経営の基礎を十分に固める段階や、就農者として実践的な農業技術を習得するに至るまでの個別のプログラムを作成し、濃密な指導助言を行い、職業意識や経営理念、経営構想力、問題解決能力、管理能力、リーダーシップの確保開発に努める。
- (ウ) 青年等が進んで就農できる環境づくりを推進するため、技術・経営・資金・農地・農村生活・仲間 づくりや受入れ体制に関する情報の収集及び提供・相談活動を行う。
- (エ) 若者が希望と誇りをもって就農できる気運と環境を醸成するため、農業問題や後継者問題等について協議し、対策を講じる支援活動の強化に努める。
- ケ 効率的かつ安定的な農業経営体の育成を基本としつつ、地域農業の維持・発展のため、県内各地域の実態に即し、多様な担い手を以下のように位置づけ、その育成を図る。
- (7) 育成すべき効率的かつ安定的な農業経営体を補完する受託組織等 市町、農協等が参画した第3セクターやサービス事業体等の農作業受託組織については、農作業

変 更 後

受託を通じ育成すべき農業経営体を補完するものとして、その育成を図る。

(イ) 育成すべき効率的かつ安定的な農業経営体の育成母体となる生産組織

地域及び営農の実態等に応じた多様な生産組織を育成するとともに、経営の効率化を図り、経営体としての体制が整ったものについては法人化へ誘導を図る。

特に、集落を単位とした生産組織(集落営農)については、農地管理の面において重要な役割を担うことを考慮し、組織自体の協業経営化・法人化による組織経営体、組織内のオペレーター等の専従的農家からの個別経営体への発展を支援し、その経営発展を加速することにより、農業経営の育成を図る。

コ 必要に応じて、地域の農業者等との適切な役割分担のもと、安定的かつ効率的な農業経営に取り組む ことを原則とし、担い手として積極的に一般企業の参入を図る。

3 地带別振興方向

地域別には、次のとおり3地帯に区分し、地域の実情を踏まえた振興策に取り組むことにより、農産物の 需給動向に対応できる均衡のとれた供給産地の形成を図ることで、上記目標を達成するものとする。

【沿岸・島しょ部農業地帯】

島しょ部又は海に面している樹園地の占める割合が相当程度である農業地帯においては<mark>適地適作を基本とした果樹生産が行われており、</mark>園内作業道や多目的かんがい施設等の整備並びに園地の緩傾斜化などの基盤整備、省力機械施設の整備及び労働を補完するシステムの構築を推進するとともに、分散した園地の集積と適正な規模拡大を中心に農用地の利用調整を進め、果樹産地の再編成と銘柄産地の育成を図る。特に、経営管理の熟度が向上した経営体については、必要に応じ、法人形態への移行を誘導する。

【農山村農業地帯】

内陸の農山村を中心とした傾斜地率又は林野比率が相当程度である農業地帯においては地域の基幹的産業として米、野菜、果樹、畜産等多種多様な農産物の生産が行われており、棚田の整備など地域の実情に即した基盤整備、集落等を単位とした地域の資源の管理や生産を行う組織の育成を推進するとともに、高収益、高付加価値作目の積極的な導入による所得向上を目指すよう誘導する。

【平地農業地帯】

沿岸・島しょ部及び農山村地帯を除く平坦な地域を中心とした農業地帯においては水田農業に加えて施設野菜・花き生産が行われており、麦・大豆等の対策にも対応した水田の汎用化やほ場の大区画化等の基盤整備、農作業受委託の組織化を促進するとともに、個別経営体の規模拡大を中心に、農用地の利用調整を通じて連担化などの作業条件の改善を進める。特に、経営管理の熟度が向上した経営体については、必要に応じ、法人形態への移行を誘導する。

第2 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標

愛媛県における第1に示したような目標を可能とする効率的かつ安定的な農業経営の指標として、農業地帯 別の主要な営農類型を示すと次のとおりである。

なお、畜産については、県全域で示すこととする。

変 更 前

の受託を通じ育成すべき効率的かつ安定的な農業経営体を補完するものとして、その育成を図る。

(イ) 育成すべき効率的かつ安定的な農業経営体の育成母体となる生産組織

地域及び営農の実態等に応じた多様な生産組織を育成するとともに、経営の効率化を図り、経営体としての体制が整ったものについては法人化へ誘導を図る。

特に、集落を単位とした生産組織(集落営農)については、農地管理の面において重要な役割を担うことを考慮し、組織自体の協業経営化・法人化による組織経営体、組織内のオペレーター等の専従的農家からの個別経営体への発展を支援し、その経営発展を加速することにより、育成すべき効率的かつ安定的な農業経営の育成を図る。

コ 地域農業の維持・発展を図る上で必要な場合には、地域の農業者等との適切な役割分担のもと、安 定的かつ効率的な農業経営に取り組むことを原則とし、担い手として積極的に一般企業の参入を図 る。

4 地带别振興方向

地域別には、次のとおり3地帯に区分し上記目標を達成するものとする。

【沿岸・島しょ部農業地帯】

島しょ部又は海に面している樹園地の占める割合が相当程度である農業地帯においては、園内作業道や多目的かんがい施設等の整備並びに園地の緩傾斜化などの基盤整備、省力機械施設の整備及び労働を補完するシステムの構築を推進するとともに、分散した園地の集積と適正な規模拡大を中心に農用地の利用調整を進め、果樹産地の再編成と銘柄産地の育成を図る。特に、経営管理の熟度が向上した経営体については、必要に応じ、法人形態への移行を誘導する。

【農山村農業地帯】

内陸の農山村を中心とした傾斜地率又は林野比率が相当程度である農業地帯においては、棚田の整備など地域の実情に即した基盤整備、集落等を単位とした地域の資源の管理や生産を行う組織の育成を推進するとともに、高収益、高付加価値作目の積極的な導入による所得向上を目指すよう誘導する。

【平地農業地帯】

沿岸・島しょ部及び農山村地帯を除く平坦な地域を中心とした農業地帯においては、麦・大豆等の対策にも対応した水田の汎用化やほ場の大区画化等の基盤整備、農作業受委託の組織化を促進するとともに、個別経営体の規模拡大を中心に、農用地の利用調整を通じて連担化などの作業条件の改善を進める。特に、経営管理の熟度が向上した経営体については、必要に応じ、法人形態への移行を誘導する。

第2 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標

愛媛県における第1に示したような目標を可能とする効率的かつ安定的な農業経営の指標として、農業 地帯別の主要な営農類型を示すと次のとおりである。

なお、畜産については、県全域で示すこととする。

		変	更		後					変	更	育	ij	
目標営農類型一覧	記表】(詳細は	は、後掲の農業地	帯別目標常	営農類型基	本的指標に	記載のとおり)		標営農類型一	・覧表】(詳細に	は、後掲の農業	类地带别目標	営農類型基	本的指標に記	載のとおり)
経営体別	営	農	類	型	別	経営規模	_	経営体別	岸	農	類	型	別	経営規模
沿 岸 ・ 島	土地利用型	うんしゅうみか	ん			2.2 ha	消		土地利用型	うんしゅう	みかん			2.2 ha
		甘平+いよかん	+不知火-	+優良中晩	柑	2. 2 ha				甘平+いよ;	かん+不知火	:+優良中晚	柑	2.2 ha
L		うんしゅうみか ウイフルーツ	かん+甘平・	+いよかん	+優良中晩	柑+キ 1.6 ha				うんしゅう。 ウイフルーツ		乙+いよかん	+優良中晩柑	++ 1.6 ha
部農		うんしゅうみか	ん+甘平-	+ぽんかん・	+優良中晩村	世 1.7 ha	-			うんしゅうる	みかん+甘平	+ぽんかん	+優良中晩柑	1.7 ha
業		清見+甘夏柑+	不知火+個	 夏良中晚柑		2.8 ha	当	45		清見+甘夏		優良中晩柑		2.8 ha
地		河内晚柑+甘夏	オー不知り	k		2.9 ha	-			河内晚柑+	甘夏柑+不知	 火		2.9 ha
- - ,	施設型	施設中晩柑+施	設愛媛果詞	式第 28 号(約	紅まどんな)	+いよ 1.7 ha	1		施設型	施設中晚柑	+施設愛媛果	:試第28号()	紅まどんな)+1	いよ 1.7 ha
		かん+不知火+値	憂良中晩柑							かん+不知人	く 十優良中晩れ	甘		
	営		類	型	別	経営規模	1 -	経営体別	É		類	型	別	
経営体別	営 土地利用型	: 農 くり+夏秋きゅ			別	経営規模 3.3 ha	1 -	経営体別	土地利用型		類きゅうり+乾		別	経営規模 3.3 ha
農 個別経営体 上山					別		-	個別経営体					別	
農 個別経営体 上山村		くり+夏秋きゅ	うり+乾し		別	3.3 ha		個別経営体		くり+夏秋を	きゅうり+乾		別	3.3 ha
農 個別経営体 <u>-</u> 山 村 農		くり+夏秋きゅかき+うめ	うり+乾し水稲		別	3. 3 ha 2. 7 ha	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	個別経営体		くり+夏秋きかき+うめ	きゅうり+乾0+水稲		別	3. 3 ha 2. 7 ha 5. 0 ha
農 個別経営体 山 村 農 業		くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+	うり+乾し 水稲 水稲		別	3. 3 ha 2. 7 ha 5. 0 ha	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	慢 個別経営体 け		くり+夏秋さかき+うめ 夏秋きゅうり 夏秋ピーマン	きゅうり+乾 0 +水稲 レ+水稲		別	3. 3 ha 2. 7 ha 5. 0 ha 4. 0 ha
農 個別経営体山 村農業地	土地利用型	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+	うり+乾し 水稲 水稲 水稲		別	3. 3 ha 2. 7 ha 5. 0 ha 4. 0 ha	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	慢 個別経営体 計	土地利用型 施設型	くり+夏秋さかき+うめ 夏秋きゅうり 夏秋ピーマン	きゅうり+乾 0+水稲 ン+水稲 ト+水稲		別	2.7 ha
農個別経営体 山村 農業 地	土地利用型	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+	うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も	いたけ	別	3. 3 ha 2. 7 ha 5. 0 ha 4. 0 ha 4. 1 ha	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	慢 個別経営体 け	土地利用型 施設型	くり+夏秋さかき+うめ 夏秋きゅうり 夏秋ピーマン 雨よけトマ 施設ぶどう-	きゅうり+乾 り+水稲 ン+水稲 ト+水稲 +もも	しいたけ	別	3. 3 ha 2. 7 ha 5. 0 ha 4. 0 ha 4. 1 ha
農個別経営体工機大力を表現した。	土地利用型 土地利用型	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+ 施設ぶどう+も 水稲+大豆+水	うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も 稲作業受討	Lineth		3. 3 ha 2. 7 ha 5. 0 ha 4. 0 ha 4. 1 ha 0. 8 ha 36. 0 ha		個別経営体	土地利用型	くり+夏秋さかき+うめ 夏秋きゅうり 夏秋ピーマン 雨よけトマ 施設ぶどう・ 水稲+大豆・	きゅうり+乾 り+水稲 ン+水稲 ト+水稲 +もも +水稲作業受	しいたけ		3. 3 ha 2. 7 ha 5. 0 ha 4. 0 ha 4. 1 ha 0. 8 ha 36. 0 ha
農 個別経営体 =	土地利用型	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+ 施設ぶどう+も 水稲+大豆+水	うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も 稲作業受計	.いたけ E 型	別	3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha	唐 山木 唐 当 坩 岩	個別経営体	土地利用型	くり+夏秋さかき+うめ 夏秋きゅうり 夏秋ピーマン 雨よけトマ 施設ぶどう・ 水稲+大豆・	きゅうり+乾 り+水稲 ン+水稲 ト+水稲 +もも +水稲作業受 類	しいたけ 託 型	別	3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha
農 個別経営体 古	土地利用型 土地利用型 営土地利用型 対	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+ 施設ぶどう+も 水稲+大豆+水 農	うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も 稲作業受計 類 水稲作業受	.いたけ E 型		3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha	是 山木 是 当	個別経営体 組織経営体 選 体 別 区 個別経営体	土地利用型 施 設 型 土地利用型 営 土地利用型	くり+夏秋さかき+うめ 夏秋きゅうり 夏秋ピーマン 雨よけトマ 施設ぶどう・ 水稲+大豆・ 農 水稲+麦+大豆	きゅうり+乾 0 +水稲 / +水稲 ト + 水稲 + もも + 水稲作業受 類 5 + 水稲作業	しいたけ 託 型	別	3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha
農 個別経営体 =	土地利用型 型土地利用型 営土地利用型 対	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+ 施設ぶどう+も 水稲+大豆+水 農 株稲+麦+大豆+ス	うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も 稲作業受計 類 水稲作業受計	.いたけ E 型		3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.8 ha	唐 山木 唐 芳 址 荇	個別経営体 組織経営体 選 体 別 区 個別経営体	土地利用型	くり+夏秋さかき+うめ 夏秋ピーマン 雨よけトマ 施設ぶどう・ 水稲+大豆・ 農 水稲+麦+大豆	きゅうり+乾 の+水稲 ン+水稲 ト+水稲 +もも +水稲作業受 類 豆+水稲作業 番+麦	しいたけ 託 型	別	3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.0 ha
農 個別経営体 =	土地利用型 型土地利用型 営土地利用型 対 され	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+ 施設ぶどう+も 水稲+大豆+水 農 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も 稲作業受計 類 水稲作業受計	.いたけ E 型		3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.8 ha 5.0 ha	唐 山 木 唐 ј 址 岩	個別経営体 組織経営体 別 経営体 別 体 と と と と と と と と と と と と と と と と と	土地利用型	くり+夏秋かき+うめ夏秋ピーマン雨よけトマ施設ぶどう・水稲+大豆・機水稲+麦+大豆さといも+水稲+	きゅうり+乾 の+水稲 /+水稲 ト+水稲 +もも +水稲作業受 類 豆+水稲作業 音+麦 -麦	しいたけ 託 型	別	3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.0 ha 5.0 ha
農山村農業地帯 経営体 組織経営体 超別経営体 組織経営体 日別経営 日本 <td>土地利用型 型土地利用型 営土地利用型 対 され に しょう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこ</td> <td>くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+ 施設ぶどう+も 水稲+大豆+水 農 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **</td> <td>うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も 稲作業受計 類 水稲作業受計</td> <td>.いたけ E 型</td> <td></td> <td>3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.8 ha 5.0 ha 10.0 ha</td> <td>唐 山 木 唐 貧 坩 荷</td> <td>個別経営体 組織経営体 別 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関</td> <td>土地利用型</td> <td>くり+夏秋さかき+うめ 夏秋ピーマン 雨よけトマ施設ぶどう・ 水稲+大豆・ とといる・水稲+ なといる・水稲+ なといる・水稲+</td> <td>きゅうり+乾 0 +水稲 / +水稲 ト + 水稲 + もも + 水稲作業受 五 + 水稲作業 五 + 水稲作業 五 + 水稲作業 五 - 水稲</td> <td>しいたけ 託 型</td> <td>別</td> <td>3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.0 ha 5.0 ha 10.0 ha</td>	土地利用型 型土地利用型 営土地利用型 対 され に しょう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこ	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+ 施設ぶどう+も 水稲+大豆+水 農 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も 稲作業受計 類 水稲作業受計	.いたけ E 型		3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.8 ha 5.0 ha 10.0 ha	唐 山 木 唐 貧 坩 荷	個別経営体 組織経営体 別 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関 体 関	土地利用型	くり+夏秋さかき+うめ 夏秋ピーマン 雨よけトマ施設ぶどう・ 水稲+大豆・ とといる・水稲+ なといる・水稲+ なといる・水稲+	きゅうり+乾 0 +水稲 / +水稲 ト + 水稲 + もも + 水稲作業受 五 + 水稲作業 五 + 水稲作業 五 + 水稲作業 五 - 水稲	しいたけ 託 型	別	3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.0 ha 5.0 ha 10.0 ha
農個別経営体工程機工程を関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	土地利用型 型土地利用型 営 力 さ し ほ こ	くり+夏秋きゅ かき+うめ 夏秋きゅうり+ 夏秋ピーマン+ 雨よけトマト+ 施設ぶどう+も 水稲+大豆+水 農 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	うり+乾し 水稲 水稲 水稲 も 稲作業受計 類 水稲作業受計	.いたけ E 型		3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.8 ha 5.0 ha	唐 山 木 唐 ј 址 岩	個別経営体 組織経営体 別 体 と 個別 体 と は と と と と と と と と と と と と と と と と と	土地利用型	くり+夏秋かき+うめ夏秋ピーマン雨よけトマ施設ぶどう・水稲+大豆・機水稲+麦+大豆さといも+水稲+	きゅうり+乾 0 +水稲 / +水稲 ト + 水稲 + もも + 水稲作業受 五 + 水稲作業 五 + 木素 - 大水稲 + 水稲	しいたけ 託 型	別	3.3 ha 2.7 ha 5.0 ha 4.0 ha 4.1 ha 0.8 ha 36.0 ha 経営規模 15.0 ha 8.0 ha 5.0 ha

甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑

2.2 ha

2.2 ha

甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑

愛媛県農業経営基盤強化促進に関する基本方針新旧対照表

		2 47,247, 17,4 42,141	
		変 更 後	
		うんしゅうみかん+甘平+いよかん+優良中晩柑+	1.6 ha
		キウイフルーツ	
	施設型	施設うんしゅうみかん+うんしゅうみかん+施設中	1.5 ha
		晩柑+施設愛媛果試第 28 号(紅まどんな)	
		施設高設いちご+水稲	6.3 ha
		施設きゅうり+水稲	6.9 ha
		施設トマト+水稲	6.9 ha
		施設アスバラガス+水稲	7.0 ha
		施設バラ (ロックウール)	0.4 ha
		施設デルフィニウム+枝物(花木)+夏秋きゅうり	1.0 ha
		施設花壇苗	0.4 ha
組織経営体	土地利用型	水稲+麦+大豆+水稲作業受託	55.0 ha

		変 更 前		
		うんしゅうみかん+甘平+いよかん+優良中晩柑+	1.6 ha	
		キウイフルーツ		
	施設型	施設うんしゅうみかん+うんしゅうみかん+施設中	1.5 ha	
		晩柑+施設愛媛果試第 28 号(紅まどんな)		
		施設高設いちご+水稲	6.3 ha	
		施設きゅうり+水稲	6.9 ha	
		施設トマト+水稲	6.9 ha	
		施設アスバラガス+水稲	7.0 ha	
		施設バラ (ロックウール)	0.4 ha	
		施設デルフィニウム+枝物(花木)+夏秋きゅうり	1.0 ha	
		施設花壇苗	0.4 ha	
組織経営体	土地利用型	水稲+麦+大豆+水稲作業受託	55.0 ha	

経	営	体	別	営		農	類	型	別	経 営 規 模
県	個別	刂経	営体	畜	産	酪農				経産牛 50 頭 育成牛 25 頭 飼料作物 10.0 ha
全						肉用4	上 (繁)	植一貫)		繁殖牛·子牛 25 頭 肥育牛 53 頭 飼料作物 3.8 ha
域						肉用4	片 (肉 ¹	専用種肌	三育)	肉用牛 125 頭 飼料作物 2.2 ha
畜						肉用4	卜 (交	推種肥育	予一貫)	肉用牛 300 頭 飼料作物 6.0 ha
産						養豚	(一貫)	1		種雌豚 160 頭 肥育豚 1,600 頭
						養鶏	(採卵)	鲁)		成鶏 30,000 羽 育成鶏 15,000 羽
						養鶏	(ブロ-	イラー)		ブロイラー45,000 羽

経	営体別	営	農	類	型	別	経 営 規 模
県	個別経営体	畜 産	酪農				経産牛 50 頭 育成牛 25 頭 飼料作物 5.0 ha
全			肉用牛	- (繁殖	直一貫)		繁殖牛・子牛 18 頭 肥育牛 56 頭 飼料作物 3.4 ha
域			肉用牛	: (肉頁	享用種肌	三育)	肉用牛 125 頭 飼料作物 1.1 ha
畜			肉用牛	: (交染	惟種肥育	آ 一貫)	肉用牛 250 頭 飼料作物 3.0 ha
産			養豚	(一貫)			種雌豚 160 頭 肥育豚 1,600 頭
)			養鶏	(採卵彩	鳥)		成鶏 30,000 羽 育成鶏 15,000 羽
			養鶏	(ブロ/	イラー)		ブロイラー40,000 羽

第3 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標

愛媛県における第1に示したような目標を可能とする、新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべ

き農業経営の指標は、第2の効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標のとおり。

第3 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基 本的指標

愛媛県における第1に示したような目標を可能とする、新たに農業経営を営もうとする青年等が目標と すべき農業経営の指標は、第2の効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標のとおり。 更 更 変

第4 農業を担う者の確保及び育成を図るための体制の整備その他支援の実 第4 農業を担う者の確保及び育成を図るための体制の整備その他支援の 施に関する事項

1 農業を担う者の確保及び育成方針

次世代の農業を担う人材を確保するため、新たに就農をしようとする青年等について、県内の各地域で安心 して就農し定着することが出来るよう、関係機関と連携しながら新規就農者の募集から研修、就農、経営発展、 経営継承までを一貫して支援する。

さらに、地域計画において将来の農用地等を利用するとして位置付けられた「農業を担う者」(継続的に農 用地利用を行う中小・家族経営や兼業農家などの多様な経営体を含む。)についても、効率的かつ安定的な農↓域で安心して就農し定着することが出来るよう、関係機関と連携しながら新規就農者の募集から研修、就 業経営を営む場合は、次世代の農業を担う人材として支援する。

また、生産現場の生産性向上や労働力不足等の課題に対応し、多様な担い手の安定した農業生産を下支えす る観点から、スマート農業技術等を活用した省力化やデジタル人材の育成、農福連携等による労働力補完に取↓農用地利用を行う中小・家族経営や兼業農家などの多様な経営体を含む。)についても、効率的かつ安定的 り組む。

2 農業経営・就農支援センターの体制及び運営方針

県は、農業経営基盤強化促進法第 11 条の 11 の規定に基づき、公益財団法人えひめ農林漁業振興機構を、愛 媛県農業経営・就農支援センター(以下「支援センター」という。)としての業務を行う拠点と位置付け、農業|愛媛県農業経営・就農支援センター(以下「支援センター」という。)としての業務を行う拠点と位置付け、 経営の改善に向けた助言・指導のほか、就農希望者の相談・情報提供や、関係機関との連携を行うこととする。 支援センターは、以下(1)~(4)の業務を行うこととする。

- (1) 農業を担う者の確保・育成を図るための情報発信・広報活動
- (2) 経営管理の合理化等の農業経営の改善、農業経営の法人化や委託を受けて農作業を行う組織の設立等に 関する相談対応、専門家派遣、啓発活動
- (3) 農業経営の計画的な継承のための啓発活動、相談対応
- (4) 就農等希望者などの農業を担う者、その他関係者からの相談対応、必要となる情報の提供、希望に応じ た就農先の紹介・調整

支援センターの運営に当たっては、愛媛県農林水産部農政企画局農地・担い手対策室(以下「農地・担い手 対策室」という。)が指導・監督を行うとともに、普及組織、市町、愛媛県農業協同組合中央会、農業協同組 合、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、愛媛県信用農業協同組合連合会、一般社団法人愛媛県農業会議、市 町農業委員会、株式会社日本政策金融公庫松山支店、公益財団法人えひめ産業振興財団と相互に連携してサポ ートを行うものとする。

就農支援センターの相談窓口については、公益社団法人えひめ農林漁業振興機構に設置することとし、関係│財団と相互に連携してサポートを行うものとする。 機関が連携して、就農から定着、経営発展、経営継承までのサポートを一貫して行うものとする。

- 実施に関する事項
- 1 農業を担う者の確保及び育成方針

本基本方針第1の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な方向」に即して、認定農業者や認定新規 就農者、集落営農組織等の担い手について、農業者の主体性と創意工夫を発揮した経営を展開できるよう重 点的に支援する。

また、次世代の農業を担う人材を確保するため、新たに就農をしようとする青年等について、県内の各地 農、経営発展、経営継承までを一貫して支援する。

さらに、地域計画において将来の農用地等を利用するとして位置付けられた「農業を担う者」(継続的に な農業経営を営む場合は、次世代の農業を担う人材として支援する。

また、生産現場の生産性向上や労働力不足等の課題に対応し、多様な担い手の安定した農業生産を下支え する観点から、スマート農業技術等を活用した省力化や農業分野におけるデジタル人材の育成、農福連携等 による労働力補完に取り組む。

2 農業経営・就農支援センターの体制及び運営方針

県は、農業経営基盤強化促進法第 11 条の 11 の規定に基づき、公益財団法人えひめ農林漁業振興機構を、 農業経営の改善に向けた助言・指導のほか、就農希望者の相談・情報提供や、関係機関との連携を行うこと とする。

支援センターは、以下(1)~(4)の業務を行うこととする。

- (1) 農業を担う者の確保・育成を図るための情報発信・広報活動
- (2) 経営管理の合理化等の農業経営の改善、農業経営の法人化や委託を受けて農作業を行う組織の設立 等に関する相談対応、専門家派遣、啓発活動
- (3) 農業経営の計画的な継承のための啓発活動、相談対応
- (4) 就農等希望者などの農業を担う者、その他関係者からの相談対応、必要となる情報の提供、希望に応 じた就農先の紹介・調整

支援センターの運営に当たっては、愛媛県農林水産部農政企画局農地・担い手対策室(以下「農地・担い 手対策室」という。)が指導・監督を行うとともに、支援センターは、普及組織、市町、愛媛県農業協同組 合中央会、農業協同組合、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、愛媛県信用農業協同組合連合会、一般社団 法人愛媛県農業会議、市町農業委員会、株式会社日本政策金融公庫松山支店、公益財団法人えひめ産業振興

就農支援センターの相談窓口については、公益社団法人えひめ農林漁業振興機構に設置することとし、関 係機関が連携して、就農から定着、経営発展、経営継承までのサポートを一貫して行うものとする。

変 更 後 要 更

3 県の取組方針

県は、新たに就農しようとする者や農業を担う者を幅広く確保するため、支援センターと連携して、農業の魅力発信、市町・地域毎の受入体制の整備、具体的な営農のイメージ等について、様々なメディアを活用したPR活動を行うとともに、ホームページ等を活用して積極的に情報発信する。

また、新たに就農しようとする青年等に対する研修の実施を積極的に支援するとともに、新たに農業経営を 営もうとする青年等が円滑に経営を開始し、将来的に効率的かつ安定的な農業経営へ発展できるよう、必要な 支援を措置し、青年等就農計画制度の普及及び国等の支援の活用を働きかける。

認定農業者が経営改善計画を達成できるよう、また認定新規就農者が円滑に認定農業者に移行できるよう、 普及組織により計画的に巡回指導等を行う。

えひめ農業未来カレッジ(農業大学校)において実践的な研修教育指導等を行うとともに、農業分野におけるデジタル人材の育成に取り組む。

4 関係機関の連携・役割分担

支援センターは、本基本方針第4の2に示した役割を担うとともに、公益財団法人えひめ農林漁業振興機構助成事業により青年農業者確保育成活動等を推進する。

市町は、就農希望者等の受入について、市町の関係者が連携した体制を構築するとともに、就農地の生活・ 住居等に関する情報の提供、定着する上での相談対応等のサポートを行う。

愛媛県農業協同組合中央会、農業協同組合、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、愛媛県信用農業協同組合 活・住居等に関する情報の提供、定着する上での相談対応等のサポートを行う。 連合会は、新規就農者の募集から研修、就農、経営発展、経営継承までを一貫して支援する。 愛媛県農業協同組合中央会、農業協同組合、全国農業協同組合連合会愛媛県本

一般社団法人愛媛県農業会議、市町農業委員会は、農業を担う者からの農地等に関する相談対応、農地等に 関する情報の提供、農地等の紹介・あっせん等を行う。

株式会社日本政策金融公庫松山支店は、 規模拡大・経営発展をしようとする農業者や経営を開始する認定 新規就農者等からの相談に対応し、各種融資を活用した経営面でのアドバイスを行う。

公益財団法人えひめ産業振興財団は、6次産業化や販路拡大を目指す農業者からの相談等に対応し、中小企業向けの施策を活用したサポートを行う。

個々の集落(地域計画の作成区域)では、農業を担う者を受け入れるための地域の雰囲気づくり、コミュニケーションづくりを行う。

5 就農等希望者のマッチング及び農業を担う者の確保・育成のための情報収集・相互提供

市町は、区域内の就農受入組織と連携し、区域内における作付け品目毎の就農受入体制、研修内容、就農後の生活や収入のイメージ等、就農等希望者が必要とする情報を整理し、県及び支援センターに情報提供する。 支援センターは、市町から提供を受けた就農受入や農業経営・生活等のイメージに関する情報について、ホームページや就農イベント等を通じて就農希望者等に分かりやすく情報提供する。また、就農等希望者、就農を受け入れる法人等の農業者、その他の関係者から就農等に関する相談があった場合には、相談内容に応じて

3 県の取組方針

県は、新たに就農しようとする者や農業を担う者を幅広く確保するため、支援センターと連携して、農業の魅力発信、市町・地域毎の受入体制の整備、具体的な営農のイメージ等について、様々なメディアを活用した PR 活動を行うとともに、ホームページ等を活用して積極的に情報発信する。

前

県は、新たに就農しようとする青年等に対する研修の実施を積極的に支援するとともに、新たに農業経営を営もうとする青年等が円滑に経営を開始し、将来的に効率的かつ安定的な農業経営へ発展できるよう、必要な支援を措置し、青年等就農計画制度の普及及び国等の支援の活用を働きかける。

認定農業者が経営改善計画を達成できるよう、また認定新規就農者が円滑に認定農業者に移行できるよう、普及組織により計画的に巡回指導等を行う。

県は、えひめ農業未来カレッジ(農業大学校)において実践的な研修教育指導等を行うとともに、農業分野におけるデジタル人材の育成に取り組む。

4 関係機関の連携・役割分担

支援センターは、関係機関と連携し、就農相談や農業法人等からの求人情報の収集と職業紹介、農業を担 う者からの農地等に関する相談対応、農地等に関する情報の提供、農地等の紹介・あっせん等を行うととも に、公益財団法人えひめ農林漁業振興機構助成事業により青年農業者確保育成活動等を推進する。

市町は、就農希望者等の受入について、市町の関係者が連携した体制を構築するとともに、就農地の生活・住居等に関する情報の提供、定着する上での相談対応等のサポートを行う。

愛媛県農業協同組合中央会、農業協同組合、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、愛媛県信用農業協同組合連合会は、新規就農者の募集から研修、就農、経営発展、経営継承までを一貫して支援する。

一般社団法人愛媛県農業会議、市町農業委員会は、農業を担う者からの農地等に関する相談対応、農地等に関する情報の提供、農地等の紹介・あっせん等を行う。

株式会社日本政策金融公庫松山支店は、 規模拡大・経営発展をしようとする農業者や経営を開始する認 定新規就農者等からの相談に対応し、各種融資を活用した経営面でのアドバイスを行う。

公益財団法人えひめ産業振興財団は、6次産業化や販路拡大を目指す農業者からの相談等に対応し、中小企業向けの施策を活用したサポートを行う。

個々の集落(地域計画の作成区域)では、農業を担う者を受け入れるための地域の雰囲気づくり、コミュニケーションづくりを行う。

5 就農等希望者のマッチング及び農業を担う者の確保・育成のための情報収集・相互提供

市町は、区域内の就農受入組織と連携し、区域内における作付け品目毎の就農受入体制、研修内容、就農 後の生活や収入のイメージ等、就農等希望者が必要とする情報を整理し、県及び支援センターに情報提供す る。

支援センターは、市町から提供を受けた就農受入や農業経営・生活等のイメージに関する情報について、ホームページや就農イベント等を通じて就農希望者等に分かりやすく情報提供する。また、就農等希望者、

愛媛県農業経営基盤強化促進に関する基本方針新旧対照表

更 更 変 前

町の担当者等に紹介する。

支援センター及び普及組織は、就農等希望者を市町等に紹介した後においても、その後の研修・調整・定着┃調整し、市町の担当者等に紹介する。 状況を随時把握し、関係者と連携して必要な助言・指導を行うとともに、研修・就農先の変更が必要になった。 場合には、必要に応じて他の市町等との調整を行う。

市町及び農業協同組合は、経営の移譲を希望する農業者の情報について、積極的に把握するよう努め、県及│った場合には、必要に応じて他の市町等との調整を行う。 び支援センターに情報提供するとともに、支援センターは、就農等希望者とマッチングを行い、市町等と連携 して円滑に継承できるよう必要なサポートを行う。

第5 効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に 第5 効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積 関する目標及びその他農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

上記第2に掲げる、これらの効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目 標を将来の地域における農用地の利用に占めるシェアの目標として示すと、おおむね次に掲げる程度である。

効率的かつ安定的な農業経営体 が地域の農用地の利用に占める 面積のシェアの目標	備考
5 0 %	※ 個別経営体、組織経営体の地域における農用地利用(基幹的農作業(水稲については耕起、代かき、田植え、収穫、その他の作目については耕起、播種、収穫及びこれらに準ずる作業)を3作業以上実施している農作業受託の面積を含む。)面積のシェアの目標である。 ※ 目標年次は、令和12年とする。

各地域において作成される地域計画の実現に向けて、効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地 の集約化を進めるため、農地中間管理機構、市町、農業委員会等と連携しながら、分散錯圃の状況を解消し、 担い手の農用地の連担化や団地面積の増加を図る。

中山間地域や担い手不足の地域では、地域全体で農用地の確保・有効利用を図るため、中小・家族経営など 地域社会の維持に重要な役割を果たしている経営体を含め新規就農の促進等を図る。

必要な情報を提供し、当該者の希望内容や相談の結果等に応じて積極的に研修先や就農先の市町を調整し、市|就農を受け入れる法人等の農業者、その他の関係者から就農等に関する相談があった場合には、相談内容に 応じて必要な情報を提供し、当該者の希望内容や相談の結果等に応じて積極的に研修先や就農先の市町を

> 支援センター及び普及組織は、就農等希望者を市町等に紹介した後においても、その後の研修・調整・定 着状況を随時把握し、関係者と連携して必要な助言・指導を行うとともに、研修・就農先の変更が必要にな

> 市町及び農業協同組合は、経営の移譲を希望する農業者の情報について、積極的に把握するよう努め、県 及び支援センターに情報提供するとともに、支援センターは、就農等希望者とマッチングを行い、市町等と 連携して円滑に継承できるよう必要なサポートを行う。

に関する目標及びその他農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目

上記第2に掲げる、これらの効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関す る目標を将来の地域における農用地の利用に占めるシェアの目標として示すと、おおむね次に掲げる程度 である。

効率的かつ安定的な農業経営体 が地域の農用地の利用に占める 面積のシェアの目標	備 考
6 9 %	※ 「効率的かつ安定的な農業経営が地域の農用地の利用に占める面積のシェアの目標」は、個別経営体、組織経営体の地域における農用地利用(基幹的農作業(水稲については耕起、代かき、田植え、収穫、その他の作目については耕起、播種、収穫及びこれらに準ずる作業)を3作業以上実施している農作業受託の面積を含む。)面積のシェアの目標である。 ※ 当該目標は、「担い手の農地利用が全農地の8割を占める農業構造の実現」という国全体の目標を踏まえて、平成25年度に国から愛媛県に割り当てられた目標であり、農業経営基盤強化促進事業、農地中間管理事業及び農地中間管理機構が行う特例事業等を積極的に活用し、効率的かつ安定的な農業経営を営む者への農用地の面的集積の割合を高めるよう努めるものとする。 ※ 目標年次は、令和5年とする。

変 更 後 更 前

各地域において作成される地域計画の実現に向けて、効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の集約化を進めるため、農地中間管理機構、市町、農業委員会等と連携しながら、分散錯画の状況を解消し、担い手の農用地の連担化や団地面積の増加を図る。

中山間地域や担い手不足の地域では、地域全体で農用地の確保・有効利用を図るため、中小・家族経営など地域社会の維持に重要な役割を果たしている経営体を含め新規就農の促進等を図る。

第6 農業経営基盤強化促進事業の実施に関する基本的な事項

第2で示すような営農類型ごとの効率的かつ安定的な経営体の育成と、第3で示すこれらの経営体が地域の農用地利用に占める面積のシェアの目標の達成を図るため担い手を確保するとともに、農地中間管理機構を活用して担い手への農地の集積・集約化を図る取組みを一層加速していく必要がある。

県は関係各課、農業関係試験研究機関、普及組織、基盤整備部局等県内の指導体制を整備するとともに、 県農業会議、県農業協同組合中央会、公益財団法人えひめ農林漁業振興機構、県土地改良事業団体連合会等 関係団体との間で愛媛県農地中間管理事業推進会議を設置すること等により相互に十分な連携を図り、農地 中間管理事業及び農地中間管理機構が行う特例事業等を柱として、農業経営基盤の強化の促進のための措置 を講ずる。

また、このような措置を集中的かつ重点的に実施し、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対する農用地の利用の集積その他の農業経営基盤の強化を促進するための支援を集中化する農業経営改善計画認定制度の一層の普及・定着を図り、農業経営基盤強化促進法第 12 条第 1 項の規定による農業経営改善計画の認定を受けた農業者(以下「認定農業者」という。)が、市町が策定する「地域計画」において地域の農業を担う者として位置付けられるよう促す。

なお、認定農業者のうち、農業経営改善計画の期間を了する者に対しては、その経営の更なる向上に資するため、当該計画の実践結果の点検と新たな計画の作成の指導等を重点的に行う。

(1) 農用地利用改善事業

地域における話合いによる合意形成を通じ、効率的かつ安定的な経営体への農用地利用の集積を進めるため、地域段階において設立される農業再生協議会との連携を図りつつ、水田農業等土地利用型農業が主である集落であって、効率的かつ安定的な農業経営体の育成及びこれらの経営体への農用地の利用集積が遅れている集落の全てにおいて、農用地利用改善団体の設立を推進するとともに、担い手が不足している地域の農用地利用改善団体にあっては、関係者の合意の下に、地区内農用地の受け手となり、その有効利用を図る組織経営体として、特定農業法人又は特定農業団体の設立・育成を推進する。

第6 農業経営基盤強化促進事業の実施に関する基本的な事項

第2で示すような営農類型ごとの効率的かつ安定的な経営体の育成と、第3で示すこれらの経営体が地域の農用地利用に占める面積のシェアの目標の達成を図るためには、TPP等による新たな国際環境を見据え、優れた経営感覚を備えた担い手を確保するとともに、農地中間管理機構を活用して担い手への農地の集積・集約化を図る取組みを一体的かつ積極的に進め、農業の構造改革を一層加速していく必要がある。

このため、県は関係各課、農業関係試験研究機関、普及組織、基盤整備部局等県内の指導体制を整備するとともに、県農業会議、県農業協同組合中央会、公益財団法人えひめ農林漁業振興機構、県土地改良事業団体連合会等関係団体との間で愛媛県農地中間管理事業推進会議を設置すること等により相互に十分な連携を図り、利用権設定等促進事業とともに、農地中間管理事業及び農地中間管理機構が行う特例事業等を柱として、農業経営基盤の強化の促進のための措置を講ずる。

また、このような農業経営基盤の強化の促進のための措置を集中的かつ重点的に実施し、これらの措置が効率的かつ安定的な農業経営体の育成に効果的に結びつくよう、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対する農用地の利用の集積その他の農業経営基盤の強化を促進するための支援措置を集中化する農業経営改善計画認定制度の一層の普及・定着を図り、農業経営基盤強化促進法第12条第1項の規定による農業経営改善計画の認定を受けた農業者(以下「認定農業者」という。)が、市町が策定する「地域計画」において地域の農業を担う者として位置付けられるよう促す。

なお、認定農業者のうち、農業経営改善計画の期間を了する者に対しては、その経営の更なる向上に資するため、当該計画の実践結果の点検と新たな計画の作成の指導等を重点的に行う。

(1) 農用地利用改善事業

農用地利用改善事業については、地域における話合いによる合意形成を通じ、効率的かつ安定的な経営体への農用地利用の集積を進めるため、地域段階において設立される農業再生協議会及び担い手育成総合支援協議会との連携を図りつつ、水田農業等土地利用型農業が主である集落であって、かつ、効率的かつ安定的な農業経営体の育成及びこれらの経営体への農用地の利用集積が遅れている集落の全てにおいて、農用地利用改善団体の設立を推進するとともに、担い手が不足している地域の農用地利用改善団体にあっては、関係者の合意の下に、地区内農用地の受け手となり、その有効利用を図る組織経営体として、特定農業法人又は特定農業団体の設立・育成を推進する。

<u>変</u> 更 後 変 更

(2) その他農業経営基盤の強化を促進するために必要な事業

委託を受けて行う農作業の実施を促進する事業、農業経営の改善を図るために必要な農業従事者の育成 及び確保を促進する事業その他農業経営基盤の強化を促進するために必要な事業については、各地域の特 性を踏まえてその地域に適した事業を主体とした重点的、効果的実施を図る。

(3) 推進体制の整備

普及組織等の県内の指導機関においては、地域農業再生協議会及び担い手育成総合支援協議会、市町、農業委員会、農業協同組合等地域の関係機関・団体との連携を進め、地域における指導機能の強化と総合化を図る。特に、集落の農業の将来方向と育成すべき経営体、さらに小規模な兼業農家、生きがい農家、土地持ち非農家の連携及び役割分担の明確化が図られるよう、集落段階における農業者の徹底した話合いや、農業者の農業経営改善計画の作成に関し適切な指導を行うとともに、その達成のために必要な生産方式や経営管理の合理化等、農業従事の態様の改善のための研修を実施する。一般企業が参入する場合においては、農用地の貸付け等に当たり、地域の育成すべき担い手の経営との整合性を十分に検討する体制をとる。

また、経営の指導を担当する者の能力向上、農地所有適格法人の設立・運営に向けた指導強化等を図る。 支援センターは、関係機関等との緊密な連携をとった支援体制を構築し、就農希望者のマッチング及び 農業を担う者の確保及び育成を図る。

- (4) 新規就農青年等の確保育成を促進するための取組
- ア 新たに農業経営を営もうとする青年等の増加に向けた取組
 - (7) 農業体験学習の支援等学校教育との連携強化

農業への興味を喚起し、就農候補者の底辺の拡大と就農意欲の啓発を図るため、学校教育と連携 し、児童・生徒の農業体験学習を推進するともに、地元の農家による出前授業、講演会等を開催す る。

また、農業が、県内の高校、大学等における、学生・生徒の進路の選択肢になるよう、農家や農業法人等におけるインターンシップを実施する。

(イ) 新規就農者の掘り起こし活動

集落が主体となって、就農希望者の選定から就農、さらには先進的な地域農業の担い手となるまでの一貫した支援活動を行う。

また、就農PR、受け入れ情報の収集・発信、各種相談活動等を実施し、多様な就農ルートを通じて幅広く新規就農者の確保を図る。

(ウ) 就農意欲の醸成に向けた取組

本県農業の魅力を積極的に伝えていくため、様々なメディアを活用し、若者に向けて積極的に情報発信する。

また、都市圏や県内の農業高校、大学において出張就農相談会を実施すること等により、就農希望者からの相談に対応する。

(2) その他農業経営基盤の強化を促進するために必要な事業

委託を受けて行う農作業の実施を促進する事業、農業経営の改善を図るために必要な農業従事者の 育成及び確保を促進する事業その他農業経営基盤の強化を促進するために必要な事業については、各 地域の特性を踏まえてその地域に適した事業を主体とした重点的、効果的実施を図る。

前

(3) 推進体制の整備

普及組織等の県内の指導機関においては、地域農業再生協議会及び担い手育成総合支援協議会、市町、農業委員会、農業協同組合等地域の関係機関・団体との連携を進め、地域における指導機能の強化と総合化を図る。特に、集落の農業の将来方向と育成すべき経営体、さらに小規模な兼業農家、生きがい農家、土地持ち非農家の連携及び役割分担の明確化が図られるよう、集落段階における農業者の徹底した話合いや、自主的かつ計画的に経営改善を進めようとする農業者の農業経営改善計画の作成に関し適切な指導を行うとともに、その達成のために必要な生産方式の合理化、経営管理の合理化、農業従事の態様の改善のための研修を実施する。一般企業が参入する場合においては、農用地の貸付け等に当たり、地域の育成すべき担い手の経営との整合性を十分に検討する体制をとる。

また、経営の指導を担当する者の能力向上、農地所有適格法人の設立・運営に向けた指導強化等を図る

支援センターは、関係機関等との緊密な連携をとった支援体制を構築し、就農相談や農業法人等からの求人情報の収集と職業紹介、公益財団えひめ農林漁業振興機構が計画する青年農業者の育成確保対策事業を通じた青年農業者確保育成活動等を推進することで、就農希望者のマッチング及び農業を担う者の確保及び育成を図る。

- (4) 新規就農青年等の確保育成を促進するための取組
- ア 新たに農業経営を営もうとする青年等の増加に向けた取組
- (ア) 農業体験学習の支援等学校教育との連携強化

農業への興味を喚起し、就農候補者の底辺の拡大と就農意欲の啓発を図るため、学校教育と連携 し、児童・生徒の農業体験学習を推進するともに、地元の農家による出前授業、講演会等を開催 する。

また、農業が、県内の高校、大学等における、学生・生徒の進路の選択肢になるよう、農家や 農業法人等におけるインターンシップを実施する。

(イ) 新規就農者の掘り起こし活動

集落が主体となって、就農希望者の選定から就農、さらには先進的な地域農業の担い手となるまでの一貫した支援活動を行う。

また、就農PR、受け入れ情報の収集・発信、各種相談活動等を実施し、多様な就農ルートを通じて幅広く新規就農者の確保を図る。

(ウ) 就農意欲の醸成に向けた取組

就農希望者に対し、本県農業の魅力を積極的に伝えていくため、様々なメディアを経由したP R活動を行うとともに、ホームページ等を活用し、若者に向けて積極的に情報発信する。

また、都市圏や県内の農業高校、大学において出張就農相談会を実施すること等により、就農 希望者からの相談に対応する。

(エ) 就農希望者に対する情報提供

就農希望者のニーズに応じた研修先や就農先の情報提供や就農相談会の開催、借受け可能な農地 や畜舎の情報、栽培技術や経営ノウハウ等の農業経営に資する情報の提供を行うとともに、農業法 人等への雇用就農については、県内の農業法人協会と連携し、求人情報の収集と職業紹介等を行 う。

(オ) 就農希望者に対する支援体制の整備

技術・経営研修、農地取得、資金調達等についての総合的な支援体制を整備するとともに、多様な 就農希望者の実情に即したきめ細やかな支援を行う。また、新規参入者に対しては、就業面、生活面 等も含めた受け入れ体制の整備を図る。

(カ) 技術習得のための支援

就農希望者に対する先進農家研修の斡旋や研修支援を行うとともに、農業教育の拠点として、県立農業大学校における教育課程の内容の充実・強化を行う等、栽培技術や農業経営に関する知識の習得の機会を提供する。

- イ 定着に向けた取組
 - (7) 安定的な経営体への成長を促す機会の提供

市町が策定する「地域計画」に地域の農業を担う者として位置付けられるよう促すとともに、国の 農業次世代人材投資事業、青年等就農資金の積極的な活用、普及組織による重点指導対象としての定 期的な巡回指導や情報提供、当該青年等を集めての交流機会の提供、経営発展の意欲の高い者に対す る優良経営者による集中講座等により、さらに安定的な経営体への成長を促す機会の提供等を行う。

(4) 新規自営就農のための技術、経営、資金等に関する指導活動の強化

各地方局農林水産振興部農業振興課及び各支局地域農業育成室に「担い手確保育成対策推進班」を設置し、新規就農のための技術・経営・資金等に関する情報の提供や各種行政施策の活用助言、就農・定着を促進するための相談等、多様な支援活動を行う。

- ウ 新たに農業経営を営む青年等の経営発展に向けた取組
- (ア) 認定新規就農者制度の普及

県は、新たに農業経営を営もうとする青年等が、効率的かつ安定的な農業経営者へと発展できるよう、支援を集中的に措置する認定新規就農者制度の普及を図る。

(イ) 認定新規就農者への指導及び農業経営改善計画作成への誘導

青年等就農計画の実施状況を点検し、関係機関・団体が必要に応じて栽培技術指導、経営指導等のフォローアップを行うなど、重点的に指導等を行う。さらに、当該農業者が引き続き農業経営改善計画を作成できるよう計画的に誘導する。

(ウ) 青年農業者等に対する継続的な濃密指導の実施

個別指導と集団指導を組み合わせ、発展段階に応じた濃密指導を推進するため、指導対象として普及 計画に位置づけ、プロジェクト活動を中心とした課題解決活動並びに経営改善活動を促進する。 (エ) 就農希望者に対する情報提供

就農希望者のニーズに応じた研修先や就農先の情報提供や就農相談会の開催、借受け可能な農地や畜舎の情報、栽培技術や経営ノウハウ等の農業経営に資する情報の提供を行うとともに、農業法人等への雇用就農については、県内の農業法人協会と連携し、求人情報の収集と職業紹介等を行う。

(オ) 就農希望者に対する支援体制の整備

就農希望者の就農が円滑になされるよう、技術・経営研修、農地取得、資金調達等についての総合的な支援体制を整備するとともに、新規学卒者、他産業経験中高年者など多様な就農希望者の実情に即したきめ細やかな支援を行う。また、新規参入者に対しては、就業面、生活面等も含めた受け入れ体制の整備を図る。

(カ) 技術習得のための支援

農業経営を必要な栽培技術や経営ノウハウ等を習得するため、就農希望者に対する先進農家研修の斡旋や研修支援を行うとともに、農業教育の拠点として、県立農業大学校における教育課程の内容の充実・強化を行う等、栽培技術や農業経営に関する知識の習得の機会を提供する。

- イ 定着に向けた取組
- (ア) 安定的な経営体への成長を促す機会の提供

市町が策定する「地域計画」に地域の農業を担う者として位置付けられるよう促すとともに、国の農業次世代人材投資事業、青年等就農資金の積極的な活用、普及組織による重点指導対象としての定期的な巡回指導や情報提供、当該青年等を集めての交流機会の提供、経営発展の意欲の高い者に対する優良経営者による集中講座等により、さらに安定的な経営体への成長を促す機会の提供等を行う。

(イ) 新規自営就農のための技術、経営、資金等に関する指導活動の強化

各地方局農林水産振興部農業振興課及び各支局地域農業育成室に「担い手確保育成対策推進班」 を設置し、新規就農のための技術・経営・資金等に関する情報の提供や各種行政施策の活用助言、就 農・定着を促進するための相談等、多様な支援活動を行う。

- ウ 新たに農業経営を営む青年等の経営発展に向けた取組
- (ア) 認定新規就農者制度の普及

県は、新たに農業経営を営もうとする青年等が、将来、効率的かつ安定的な農業経営者へと経 営発展できるよう、必要な支援を集中的に措置する認定新規就農者制度の普及を図る。

(イ) 認定新規就農者への指導及び農業経営改善計画作成への誘導

認定新規就農者については、その経営の確立に資するため、青年等就農計画の実施状況を点検し、市町・農業委員会・普及組織・農業協同組合等の関係機関・団体が必要に応じて栽培技術指導、経営指導等のフォローアップを行うなど、重点的に指導等を行う。さらに、当該農業者が引き続き農業経営改善計画を作成できるよう計画的に誘導する。

(ウ) 青年農業者等に対する継続的な濃密指導の実施

青年農業者等の資質向上については、個別指導と集団指導を組み合わせ、発展段階に応じた濃密 指導を推進するため、指導対象として普及計画に位置づけ、プロジェクト活動を中心とした課題解 決活動並びに経営改善活動を促進する。

愛媛県農業経営基盤強化促進に関する基本方針新旧対照表

変 更 後 変 更 前

(エ) 県立農業大学校での生涯学習の推進

農業大学校の研修課程において、就農前の段階、基礎研修段階、経営発展段階に応じた実務研修を行い、優れた農業経営者の育成に努める。

(オ) 農村青少年の組織活動の支援

学習活動や仲間づくり、村づくり活動等自主的な組織活動を助長し、組織化能力やリーダーシップ、 実践力等地域農業の担い手にふさわしい資質の涵養に努める。

- エ 若者を中心とした就農者が定着するための環境づくりの推進
 - (ア) チャレンジ精神に応える環境条件の整備

新しい営農システムや就農条件の導入等による魅力ある経営体づくりに取り組み、青年等が就農するための受け皿としての環境づくりを推進する。

(イ) ゆとりある農村生活の創造

魅力的で、ゆとりある農村生活を実現するため、経済的ゆとりに加え、生活の楽しさ、幸せ感、生きがい等を体感できる農業・農村ならではの生き方の創造や環境づくりを推進する。

第7 農地中間管理機構が行う特例事業の実施に関する事項

農地中間管理事業の推進に関する法律(平成 25 年法律第 101 号)第4条の規定により農地中間管理機構に指定された公益財団法人えひめ農林漁業振興機構は、農業経営の規模の拡大、農地の集団化その他農地保有の合理化を促進するため、次に掲げる事業の範囲内で、農業経営基盤強化促進法第7条に規定する事業を行う。

- ア 農用地等を買い入れて、当該農用地等を売り渡し、交換し、又は貸し付ける事業
- イ 農用地等を売り渡すことを目的とする信託の引受けを行い、及び当該信託の委託者に対し当該農用地等 の価格の一部に相当する金額の無利子貸付けを行う事業
- ウ 農業経営基盤強化促進法第 12 条第 1 項の認定に係る農業経営改善計画に従って設立され、又は資本を増加しようとする農地所有適格法人に対し農地売買等事業により買い入れた農用地等の現物出資を行い、 及びその現物出資に伴い付与される持ち分又は株式を当該農地所有適格法人の組合員、社員又は株主に計画的に分割して譲渡する事業
- エ アに掲げる事業により買い入れた農用地等を利用して行う、新たに農業経営を営もうとする者が農業の 技術又は経営方法を実地に習得するための研修その他の事業

(エ) 県立農業大学校での生涯学習の推進

農業大学校の研修課程において、就農前の段階、基礎研修段階、経営発展段階に応じた実務研修 を行い、優れた農業経営者の育成に努める。

(オ) 農村青少年の組織活動の支援

農村青少年の学習活動や仲間づくり、村づくり活動等自主的な組織活動を助長し、組織化能力やリーダーシップ、実践力等地域農業の担い手にふさわしい資質の涵養に努める。

- エ 若者を中心とした就農者が定着するための環境づくりの推進
- (ア) チャレンジ精神に応える環境条件の整備

新しい営農システムや就農条件の導入等による魅力ある経営体づくりに取り組み、青年等が就農 するための受け皿としての環境づくりを推進する。

(イ) ゆとりある農村生活の創造

魅力的で、ゆとりある農村生活を実現するため、経済的ゆとりに加え、生活の楽しさ、幸せ感、生きがい等を体感できる農業・農村ならではの生き方の創造や環境づくりを推進する。

第7 農地中間管理機構が行う特例事業の実施に関する事項

農地中間管理事業の推進に関する法律(平成25年法律第101号)第4条の規定により農地中間管理機構に指定された公益財団法人えひめ農林漁業振興機構は、農業経営の規模の拡大、農地の集団化その他農地保有の合理化を促進するため、次に掲げる事業の範囲内で、農業経営基盤強化促進法第7条に規定する事業を行う。

- ア 農用地等を買い入れて、当該農用地等を売り渡し、交換し、又は貸し付ける事業
- イ 農用地等を売り渡すことを目的とする信託の引受けを行い、及び当該信託の委託者に対し当該農用 地等の価格の一部に相当する金額の無利子貸付けを行う事業
- ウ 農業経営基盤強化促進法第12条第1項の認定に係る農業経営改善計画に従って設立され、又は資本を増加しようとする農地所有適格法人に対し農地売買等事業により買い入れた農用地等の現物出資を行い、及びその現物出資に伴い付与される持ち分又は株式を当該農地所有適格法人の組合員、社員又は株主に計画的に分割して譲渡する事業
- エ アに掲げる事業により買い入れた農用地等を利用して行う、新たに農業経営を営もうとする者が農業の技術又は経営方法を実地に習得するための研修その他の事業

変	変 更 前
【農業地帯別目標営農類型基本的指標】	【農業地帯別目標営農類型基本的指標】
k 成本心而加口标品质规土空件的旧标》	L 成本心可则口标点反规主空个IUTH标】

更 目標営農類型策定の前提条件

変

更 目標営農類型策定の前提条件

前

1 類型の設定

本県を「沿岸・島しょ部農業地帯」、「農山村農業地帯」及び「平地農業地帯」の3地帯に区分し、それぞ れの地域における主要な営農類型を設定した。

2 規模の設定

10年後に実現可能性のある、地域の他産業従事者並の生涯所得に相当する年間農業所得と他産業従事者に均 衡する年間総労働時間を達成できるような、若者が農業を魅力とやりがいのある職業として感じられる水準と した。

3 労働力

個別経営体については、主たる農業従事者1人を含む1経営体当たり2~3人(世帯主1人、配偶者、後継 者又は両親等1~2人)、組織経営体については、主たる農業従事者及び補助従事者を各2~5人とし、不足 分は雇用で対応することとした。

補助従事者については、主たる農業従事者とおおむね同じ労働時間として位置付けた。

4 農地条件

水田については、原則として1区画30a以上に基盤整備された汎用化水田とし、効率的農作業が行える程度 の連担水田とした。

樹園地については、基本的な農道が整備されている緩傾斜園で、園内作業道は、基幹のみ整備されている樹 園地とし、効率的農作業が行える程度にまとまった樹園地とした。

5 栽培技術

現在の技術を基本に将来定着可能な技術水準とした。

6 価格

最近の需給動向を勘案して設定した。

7 使用単価等

(1) 農地借入単価: 概ね10 a 当たり9,650円

(2) 補助従事者単価: 概ね1人、1時間当たり1,100円

(3) 雇用賃金単価: 概ね1人、1時間当たり1,100円

1 類型の設定

本県を「沿岸・島しょ部農業地帯」、「農山村農業地帯」及び「平地農業地帯」の3地帯に区分し、それぞ れの地域における主要な営農類型を設定した。

2 規模の設定

10年後に実現可能性のある、地域の他産業従事者並の生涯所得に相当する年間農業所得と他産業従事者に均 衡する年間総労働時間を達成できるような、若者が農業を魅力とやりがいのある職業として感じられる水準と した。

3 労働力

個別経営体については、主たる農業従事者1人を含む1経営体当たり2~3人(世帯主1人、配偶者、後継 者又は両親等1~2人)、組織経営体については、主たる農業従事者及び補助従事者を各2~5人とし、不足 分は雇用で対応することとした。

補助従事者については、主たる農業従事者とおおむね同じ労働時間として位置付けた。

4 農地条件

水田については、原則として1区画30a以上に基盤整備された汎用化水田とし、効率的農作業が行える程度 の連担水田とした。

樹園地については、基本的な農道が整備されている緩傾斜園で、園内作業道は、基幹のみ整備されている樹 園地とし、効率的農作業が行える程度にまとまった樹園地とした。

5 栽培技術

現在の技術を基本に将来定着可能な技術水準とした。

6 価格

最近の需給動向を勘案して設定した。

7 使用単価等

(1) 農地借入単価: 概ね10 a 当たり8,800円

(2) 補助従事者単価: 概ね1人、1時間当たり1,000円

(3) 雇用賃金単価: 概ね1人、1時間当たり1,000円

	変		変 更 前				
	【沿岸・島しょ部農業地帯】	【沿岸・島しょ部農業地帯】					
沿岸・島しょ部農業	。 [地帯】 〔個別経営体〕 土地利用型	【沿岸・島しょ部農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型					
営 農 類 型	うんしゅうみかん	営 農 類 型	うんしゅうみかん				
経営規模	〈経営面積〉 2. 2ha	経営規模	〈経営面積〉 2.2ha				
	〈作付面積〉 極早生うんしゅう 0.2ha		〈作付面積〉 極早生うんしゅう 0.2ha				
	早生うんしゅう 1.0ha		早生うんしゅう 1.0ha				
	普通うんしゅう 1.0ha		普通うんしゅう 1.0ha				
労 働 力	主たる従事者 1人	労 働 力	主たる従事者 1人				
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	補助從事者 2人		補助従事者 2人				
生 産 方 式		生産方式					
, ,,	農舎(99㎡)、貯蔵庫(150㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌		農舎(99㎡)、貯蔵庫(150㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軸				
	条運搬施設(400m)		条運搬施設(400m)				
	〈主要農機具〉		〈主要農機具〉				
	単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(2,800)、動力噴霧機(6PS)		単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(2,800)、動力噴霧機(6PS)				
	〈技術等〉		(技術等)				
	・防除はスプリンクラー方式		・防除はスプリンクラー方式				
	・摘果は摘果剤利用		・摘果は摘果剤利用				
	・マルチ栽培及び完熟栽培を併用		・マルチ栽培及び完熟栽培を併用				
経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。				
	・青色申告の実施		・青色申告の実施				
	77 — 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	effective and the first state	.,				
農業従事の熊様等	・休日制の導入	農業従事の熊様等	Ⅰ ・休日制の導入				
	・休日制の導入・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止	農業従事の態様等	・休日制の導入・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止				
沿岸・島しょ部農業	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 送地帯】〔個別経営体〕土地利用型	【沿岸・島しょ部農業	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (世帯】 [個別経営体] 土地利用型				
沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 送地帯】[個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (世帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑				
沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 送地帯】[個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2.2ha	【沿岸・島しょ部農業	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha				
沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (連帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha				
沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 送地帯】[個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (世帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha				
沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 送地帯】[個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (世帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha				
沿岸・島しょ部農業 営 <u>農類型</u> 経営規模	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (連帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 世平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha (作付面積) 世平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha				
沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (連帯】 [個別経営体] 土地利用型 世平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (世帯】 [個別経営体] 土地利用型 世平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha (作付面積) 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人				
沿岸・島しょ部農業 <u>営 農 類 型</u> 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (世帯】 [個別経営体] 土地利用型 (本学面積) 2.2ha (作付面積) 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人				
営 農 類 型 経 営 規 模	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (連帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha 〈作付面積〉 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 世平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha (作付面積) 世平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 (主要施設)				
沿岸・島しょ部農業 <u>営 農 類 型</u> 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 世帯】[個別経営体] 土地利用型 世平+いよかん+不知火+優良中晩柑	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha (作付面積) 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220a)、単具				
沿岸・島しょ部農業 <u>営 農 類 型</u> 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2. 2ha 〈作付面積〉 甘平 0. 2ha いよかん 1. 2ha 不知火 0. 3ha 優良中晩柑 0. 5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌 条運搬施設(350m)	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 世帯				
沿岸・島しょ部農業 <u>営 農 類 型</u> 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (基地帯】[個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2. 2ha (作付面積) 甘平 0. 2ha いよかん 1. 2ha 不知火 0. 3ha 優良中晩柑 0. 5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220a)、単軌条運搬施設(350m) (主要農機具)	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 世帯】[個別経営体] 土地利用型				
沿岸・島しょ部農業 営 <u>農類型</u> 経営規模 新 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2. 2ha 〈作付面積〉 甘平 0. 2ha いよかん 1. 2ha 不知火 0. 3ha 優良中晩柑 0. 5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌 条運搬施設(350m)	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 世帯				
沿岸・島しょ部農業 営 <u>農類型</u> 経営規模 新働力	- 農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (連帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積〉 2. 2ha (作付面積〉 甘平 0. 2ha いよかん 1. 2ha 不知火 0. 3ha 優良中晩柑 0. 5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 (主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌条運搬施設(350m) (主要農機具〉 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS)	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模 労 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha (作付面積) 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220a)、単純条運搬施設(350m) (主要農機具) 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS)				
沿岸・島しょ部農業 営農類型 経営規模 労働力式	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 世帯】 [個別経営体] 土地利用型 世平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2. 2ha	【沿岸・島しょ部農業 営 農 類 型 経 営 規 模 労 働 力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 芝地帯】〔個別経営体〕土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2. 2ha 〈作付面積〉 甘平 0. 2ha いよかん 1. 2ha 不知火 0. 3ha 優良中晩柑 0. 5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単東条運搬施設(350m) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS) 〈技術等〉 ・防除はスプリンクラー方式 				
沿岸・島しょ部農業 営農類型 経営規模 労働力式	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (連帯】 [個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 (経営面積) 2.2ha (作付面積) 甘平 0.2ha いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌条運搬施設(350m) (主要農機具) 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS) (技術等)	【沿岸・島しょ部農業 営農類型 経営規模 労働力 生産方式	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 世帯				
沿岸・島しょ部農業 営 <u>農類型</u> 経営規模 新 働 力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 世帯	【沿岸・島しょ部農業 営農類型 経営規模 労働力 生産方式	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 き地帯】[個別経営体] 土地利用型 甘平+いよかん+不知火+優良中晩柑 〈経営面積〉 2. 2ha 〈作付面積〉 甘平				

変 更 後	変
【沿岸・島しょ部農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型	【沿岸・島しょ部農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型
営 農 類 型 うんしゅうみかん+甘平+いよかん+優良中晩柑+*	
経 営 規 模 〈経営面積〉 1.6ha 〈作付面積〉 早生うんしゅう 0.3ha 甘平 0.2ha いよかん 0.5ha 優良中晩柑 0.4ha	経 営 規 模 〈経営面積〉 1.6ha 〈作付面積〉 早生うんしゅう 0.3ha 甘平 0.2ha いよかん 0.5ha 優良中晩柑 0.4ha
キウイフルーツ 0.2ha	キウイフルーツ 0.2ha
労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 1人	
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(100㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的 条運搬施設(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(2台)、普通トラック、コンテナ(1,5 〈技術等〉 ・防除はスプリンクラー方式 ・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用 ・うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併 ・キウイフルーツは平棚栽培	条運搬施設(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) (主要農機具) 単軌条運搬機(<u>3</u> 台)、普通トラック、コンテナ(<u>2,500</u>)、動力噴霧機(6 PS) (技術等) ・防除はスプリンクラー方式 ・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用
経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図・青色申告の実施	
農業従事の態様等 ・休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働	農業従事の態様等 ・休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
【沿岸・島しょ部農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型	
営農類型 うんしゅうみかん+甘平+ぽんかん+優良中晩柑	
経 営 規 模 〈経営面積〉 1.7ha 〈作付面積〉 早生うんしゅう 0.6ha 普通うんしゅう 0.3ha 甘平 0.2ha ぽんかん 0.3ha 優良中晩柑 0.3ha	経 営 規 模 〈経営面積〉 1.7ha 〈作付面積〉 早生うんしゅう 0.6ha 普通うんしゅう 0.3ha 甘平 0.2ha ぽんかん 0.3ha 優良中晩柑 0.3ha
労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 1人	対 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 1人
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(80㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的フ 運搬施設(300m) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(2台)、普通トラック、コンテナ(2,0 〈技術等〉 ・防除はスプリンクラー方式 ・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用	タプリンクラー(170 a)、単軌条 農舎(99㎡)、貯蔵庫(80㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(170 a)、単軌条 運搬施設(300m) (主要農機具) 単軌条運搬機(3 台)、普通トラック、コンテナ(2,000)、動力噴霧機(6 PS) (技術等) ・防除はスプリンクラー方式 ・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用
・うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図	図る。 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
・青色申告の実施農業従事の態様等・休日制の導入・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働	・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止

変	更後		変 更 前
		_	
沿岸・島しょ部農業地帯】〔個別経営体〕土地科			性地帯】〔個別経営体〕土地利用型
営 農 類 型│清見+甘夏柑+不知火+優	憂 良中晚柑	営 農 類 型	清見+甘夏柑+不知火+優良中晩柑
経 営 規 模 〈経営面積〉 2.8ha		経営規模	〈経営面積〉 2.8ha
〈作付面積〉 清見	1. 0ha		〈作付面積〉 清見
甘夏柑	0. 9ha		甘夏柑 0.9ha
不知火	0. 3ha		不知火 0.3ha
優良中晩柑			優良中晩柑 0.6ha
	0. 0118		
労働力 主たる従事者 1人		労 働 力	
補助従事者 2人			補助従事者 2人
生 産 方 式 〈主要施設〉		生 産 方 式	
農舎(99㎡)、貯蔵庫(300m	m³)、貯水槽(50m³)、多目的スプリンクラー(280 a)、	単軌	農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(280 a)、単
条運搬施設(<u>600</u> m)、網排	卦け施設(<u>300</u> a)		条運搬施設(400m)、網掛け施設(50 a)
〈主要農機具〉			〈主要農機具〉
単軌条運搬機(4台)、普	通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6PS)		単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(6,600)、動力噴霧機(6PS)
〈技術等〉			〈技術等〉
・防除はスプリンクラー	方式		・防除はスプリンクラー方式
・清見は網掛け・袋掛け			・清見は網掛け・袋掛け栽培
・中晩柑では高単価の品			・中晩柑では高単価の品目比率を高めた。
		タル株型の土井	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
	より経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法	
・青色申告の実施		ally ally by the total by the	・青色申告の実施
農業従事の態様等・休日制の導入		農業従事の態様等	・休日制の導入
・農繁期における臨時雇	用者の確保による過重労働の防止		・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
か 中			後地帯】〔個別経営体〕土地利用型
营農類型 河内晚柑+甘夏柑+不知丛 全営規模 〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晚柑 甘夏柑	1. 4ha 1. 2ha	営 農 類 型 経 営 規 模	〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha
財 型 河内晚柑+甘夏柑+不知丛 基 営 規 《経営面積》 2.9ha 〈作付面積〉 河内晚柑 甘夏柑 不知火	1. 4ha	経営規模	〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha
対 類 型 河内晩柑+甘夏柑+不知人名 を 営 規 〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 甘夏柑 下知火 イヤカル 方 働 力 主たる従事者 1人	1. 4ha 1. 2ha		〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人
営農類型河内晩柑+甘夏柑+不知人名経営規模〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 甘夏柑 不知火労働力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	1. 4ha 1. 2ha	経営規模 労働力	《経営面積》 2.9ha 《作付面積》 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人
営農類型 河内晩柑+甘夏柑+不知人名 経営規模 (経営面積) 2.9ha (作付面積) 河内晩柑 甘夏柑 不知火 (方 動力 主たる従事者 1 人 補助従事者 2 人 主産方式 (主要施設)	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha	経営規模	〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉
営農類型 河内晩柑+甘夏柑+不知人名 経営規模 (経営面積) 2.9ha (作付面積) 河内晩柑 甘夏柑 不知火 労働力 主たる従事者 1 人 補助従事者 2 人 産方式 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha	経営規模 労働力	《経営面積》 2.9ha 《作付面積》 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人
営農類型 河内晩柑+甘夏柑+不知人名 経営規模 (経営面積) 2.9ha (作付面積) 河内晩柑 甘夏柑 不知火 (方 動力 主たる従事者 1 人 補助従事者 2 人 主産方式 (主要施設)	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha	経営規模 労働力	〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉
営農類型 河内晩柑+甘夏柑+不知人名 経営規模 (経営面積) 2.9ha (作付面積) 河内晩柑 甘夏柑 不知火 方動力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 主産方式 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300 〈主要農機具〉	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha	経営規模 労働力	《経営面積》 2.9ha 《作付面積》 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 《主要施設》 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡)
書 類 型 河内晩柑+甘夏柑+不知及 経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 甘夏柑 不知火 方 動 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 三 産 方 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300 〈主要農機具〉	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha 0㎡)、貯水槽(50㎡)	経営規模 労働力	《経営面積》 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡) 〈主要農機具〉
営農類型 河内晩柑+甘夏柑+不知人名 経営規模 (経営面積) 2.9ha (作付面積) 河内晩柑 甘夏柑 不知火 方動力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 主産方式 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300 〈主要農機具〉 スピードスプレーヤ(600)	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha 0㎡)、貯水槽(50㎡)	経営規模 労働力	《経営面積》 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡) 〈主要農機具〉 スピードスプレーヤ(600円)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、
芸農類型 河内晩柑+甘夏柑+不知人名 経営規模 (経営面積) 2.9ha (作付面積) 河内晩柑 甘夏柑 不知火 方動力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 主産方式 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300 〈主要農機具〉 スピードスプレーヤ(600 コンテナ(5,500) 〈技術等〉	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha om²)、貯水槽(50m³) om²)、貯水槽(50m³)	経営規模 労働力	《経営面積》 2.9ha 《作付面積》 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 《主要施設》 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡) 《主要農機具》 スピードスプレーヤ(600㎏)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、コンテナ(5,500) 《技術等》
度 類 型 河内晩柑+甘夏柑+不知及 《経営面積》 2.9ha 《作付面積》 河内晩柑 甘夏柑 不知火 方 動 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 産 方 式 (主要施設》 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300 〈主要農機具》 スピードスプレーヤ(600 コンテナ(5,500) 〈技術等》 ・防除はスピードスプレー	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha Om)、貯水槽(50m) プジン、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、	経営規模 労働力	《経営面積》 2.9ha 《作付面積》 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 《主要施設》 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡) 《主要農機具》 スピードスプレーヤ(600㎏)、クローラ運搬車(500㎏)、普通トラック、コンテナ(5,500) 《技術等》 ・防除はスピードスプレーヤ
 書 農 類 型 河内晩柑+甘夏柑+不知人名 営 規 模 〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 甘夏柑 不知火 (作付面積〉 方 美たる従事者 1人 補助従事者 2人 (主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300〈主要農機具〉 スピードスプレーヤ(600~コンテナ(5,500)〈技術等〉 ・防除はスピードスプレ・河内晩柑は完熟栽培を 	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha Om)、貯水槽(50m) (プジ)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、 イーヤ ・併用	経 営 規 模 労 働 力 生 産 方 式	《経営面積》 2.9ha 《作付面積》 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 《主要施設》 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡) 《主要農機具》 スピードスプレーヤ(600㎡)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、コンテナ(5,500) 《技術等》 ・防除はスピードスプレーヤ ・河内晩柑は完熟栽培を併用
選問 類 型 河内晩柑+甘夏柑+不知人 名 営 規 模 〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 甘夏柑 不知火 色 一	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha Om)、貯水槽(50m) プジン、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、	経営規模 労働力	《経営面積》 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡) 〈主要農機具〉 スピードスプレーヤ(600㎡)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、 コンテナ(5,500) 〈技術等〉 ・防除はスピードスプレーヤ ・河内晩柑は完熟栽培を併用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
選	1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha Om)、貯水槽(50m) (プジ)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、 イーヤ ・併用	経営規模 労働 力 生産 方式 経営管理の方法	《経営面積》 2.9ha 《作付面積》 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 《主要施設》 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡) 《主要農機具》 スピードスプレーヤ(600%%)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、コンテナ(5,500) 《技術等》 ・防除はスピードスプレーヤ ・河内晩柑は完熟栽培を併用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施
経 営 規 模 〈経営面積〉 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 甘夏柑 不知火 (1. 4ha 1. 2ha 0. 3ha Om)、貯水槽(50m) (プジ)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、 イーヤ ・併用	経 営 規 模 労 働 力 生 産 方 式	《経営面積》 2.9ha 〈作付面積〉 河内晩柑 1.4ha 甘夏柑 1.2ha 不知火 0.3ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(300㎡)、貯水槽(50㎡) 〈主要農機具〉 スピードスプレーヤ(600㎡)、クローラ運搬車(500kg)、普通トラック、 コンテナ(5,500) 〈技術等〉 ・防除はスピードスプレーヤ ・河内晩柑は完熟栽培を併用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。

営 規 模〈経営面積〉 1.7ha〈作付面積〉 施設中時いよかん不知火 優良中時施設愛男働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	第28号+いよかん+不知火+優良中晩柑 型柑 0. 2ha 0. 5ha 0. 3ha 型柑 0. 5ha	営	農		型	地帯】〔個別経営体〕施設型 施設中晩柑+愛媛果試第28号+いよかん+不知火+優良中晩柑
営 規 模〈経営面積〉 1.7ha〈作付面積〉 施設中時いよかん不知火 優良中時施設愛男働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	2.柑 0. 2ha 0. 5ha 0. 3ha 2.柑 0. 5ha	経	営	規		
いよかん 不知火 優良中時 施設愛男 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	0. 5ha 0. 3ha 2柑 0. 5ha					〈経営面積〉 1.7ha
いよかん 不知火 優良中時 施設愛男 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	0. 5ha 0. 3ha 2柑 0. 5ha					〈作付面積〉 施設中晩柑 0.2ha
不知火 優良中時 施設愛男 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	0. 3ha 相 0. 5ha					いよかん 0.5ha
優良中版 施設愛見働力主たる従事者 1人 補助従事者 2人	h柑 0.5ha					不知火 0.3ha
施設愛男 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人		1 1				優良中晩柑 0.5ha
働力主たる従事者 1人補助従事者 2人						施設愛果28号 0. 2ha
補助従事者 2人	20 7 0. 2na	労	働	h	h	主たる従事者 1人
			(3)	J	- 1	補助従事者 2人
五 十 十 / 十 曲 提 割 N		4-	産	+		(主要施設)
産 方 式 〈主要施設〉		生	圧	力	工	
	設 (愛媛果試第28号) (20 a)、貯水槽(50 m³)、多目的スプリ					農舎(66㎡)、ハウス施設(愛媛果試第28号)(20 a)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリ
	仇条運搬施設(<u>500</u> m)、ハウス施設(中晩柑)(20 a)、貯蔵庫					ンクラー(130 a)、単軌条運搬施設(<u>150</u> m)、ハウス施設(中晩柑)(20 a)、貯蔵庫
$(90\mathrm{m}^2)$						$(90 \mathrm{m}^2)$
〈主要農機具〉						〈主要農機具〉
	普通トラック、コンテナ(2,150)、動力噴霧機(6 PS)					単軌条運搬機(<u>1</u> 台)、普通トラック、コンテナ(2,150)、動力噴霧機(6PS)
〈技術等〉						〈技術等〉
・防除はスプリンクラ	一方式					・防除はスプリンクラー方式
・施設中晩柑ハウスに	小加温と無加温の組み合わせ					・施設中晩柑ハウスは小加温と無加温の組み合わせ
・愛媛果試第28号は雨	iよけハウス栽培					・愛媛果試第28号は雨よけハウス栽培
営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施	により経営と家計の分離を図る。	経営	営管理	の方	法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
・ 青色申告の実施						・ 青色申告の実施
業従事の態様等 ・休日制の導入		農業	と	の熊様	等	・休日制の導入
	·雇用者の確保による過重労働の防止		1000	,21,13	1	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止

変 更 後 変 更 前

【農山村農業地帯】

【農山村農業地帯】「個別経営体」土地利用型

1,2-4	11/12	A 20 11	1 1	四別性 吾 仲 』 上	20111111111111111111111111111111111111	
営	農	類	型	くり+夏秋き	ゅうり+乾しい	たけ
経	営	規	模	〈経営面積〉	3.3ha	
				〈作付面積〉	くり	3. 0ha
					夏秋きゅうり	0. 3ha
					乾しいたけ	原木2万本
労	倬	勛	力	主たる従事者	1人	
				補助従事者	2人	
生	産	方	式	〈主要施設〉		
				農舎(100㎡)	、きゅうり支柱	(30 a)
				〈主要農機具〉		
				耕うん機(8.	5PS)、しいたけ	乾燥機、チェーンソー、動力噴霧機(6PS)、普通トラ
				ック		
				〈技術等〉		
				・乾しいたけ	は寒冷紗被覆料	浅培
				・夏秋きゅう	りは、共同選昇	果場利用
				・夏秋きゅう	りはブルームロ	ノス台木苗使用
				・くりは低植	高栽培	
経営	曾里	里の力	法	• 複式簿記記	2帳の実施により)経営と家計の分離を図る。
				青色申告の	実施	
農業	泛	の態	兼等	・休日制の導	入	
				農繁期にお	おける臨時雇用を	者の確保による過重労働の防止

【農山村農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型 営 農 類 型 かき+うめ

宮	農	類	型	かき+うめ
経	営	規	模	〈経営面積〉 2.7ha
				〈作付面積〉 刀根早生 0.2ha
				富有 0.5ha
				愛宕 1.0ha
				太秋 0.2ha
				うめ 0.8ha
労	偅	th o	力	主たる従事者 1人
				補助従事者 2人
生	産	方	式	〈主要施設〉
				農舎(100㎡)、貯水槽(50㎡)
				〈主要農機具〉
				クローラー運搬機、スピードスプレーヤ(600%)、コンテナ(500)、動力噴霧器(6
				PS)、普通トラック
				〈技術等〉
				・かきの防除はスピードスプレーヤ
				・うめは青梅出荷と一次処理梅出荷の組合せ
経言	営管理	里のナ	テ法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
				・青色申告の実施
農業	美従事	の態	羕等	・休日制の導入
				・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止

【農山村農業地帯】

【農山村農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型

/2-(1 .	14/20	14	· •	
営	農	類	型	くり+夏秋きゅうり+乾しいたけ
経	営	規	模	〈経営面積〉 3.3ha
				〈作付面積〉 くり 3.0ha
				夏秋きゅうり 0.3ha
				乾しいたけ 原木2万本
労	偅	助	力	主たる従事者 1人
				補助従事者 2人
生	産	方	式	〈主要施設〉
				農舎(100㎡)、きゅうり支柱(30a)
				〈主要農機具〉
				耕うん機(8.5PS)、しいたけ乾燥機、チェーンソー、動力噴霧機(6PS)、普通トラ
				ック
				〈技術等〉
				・乾しいたけは寒冷紗被覆栽培
				・夏秋きゅうりは、共同選果場利用
				・夏秋きゅうりはブルームレス台木苗使用
				・くりは低樹高栽培
経営	曾寶	里の力	方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
				・青色申告の実施
農業	É 従事	の態	兼等	・休日制の導入
				・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止

【農山村農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型

		,		
営	農	類	型	かき+うめ
経	営	規	模	〈経営面積〉 2.7ha
				〈作付面積〉 刀根早生 0.2ha
				富有 0.5ha
				愛宕 1.0ha
				太秋 0.2ha
				うめ 0.8ha
労	偅	助	力	主たる従事者 1人
				補助従事者 2人
生	産	方	式	〈主要施設〉
				農舎(100㎡)、貯水槽(50㎡)
				〈主要農機具〉
				スピードスプレーヤ(600ツッ)、コンテナ(500)、動力噴霧器(6 PS)、普通トラック
				〈技術等〉
				・かきの防除はスピードスプレーヤ
				・うめは青梅出荷と一次処理梅出荷の組合せ
経営	曾理	里のナ	方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
				・青色申告の実施
農業	従事	の態	兼等	・休日制の導入
				・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止

	変			変 更 前
農山村農業地帯】〔	個別経営体〕土地利用型	【農山村農業地	带】〔	個別経営体〕土地利用型
営 農 類 型	夏秋きゅうり+水稲	営 農 類	型	夏秋きゅうり+水稲
経営規模	〈経営面積〉 5.0ha	経 営 規	模	〈経営面積〉 5.0ha
	〈作付面積〉 夏秋きゅうり 0.5ha			〈作付面積〉 夏秋きゅうり 0.5ha
	水稻 4.5ha			水稲 4.5ha
労 働 力	1 1111	労 働	カ	主たる従事者 1人
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	補助従事者 2人			補助從事者 2人
生 産 方 式		生産方	式	
	農舎(100㎡)、きゅうり支柱(50 a)		•	農舎(100㎡)、きゅうり支柱(50 a)
	〈主要農機具〉			〈主要農機具〉
	トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、			トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り
	3 人共同)、乾燥機(3,000kg、3 人共同)、籾摺り機(3 人共同)、管理機、動力噴霧器			3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、動力噴霧器
	(6 PS)、普通トラック			(6PS)、普通トラック
	〈技術等〉			〈技術等〉
	・水稲は主要機械を3人で共同利用			・水稲は主要機械を3人で共同利用
	 夏秋きゅうりは共同選果場利用 			 夏秋きゅうりは共同選果場利用
経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の	方法	
在1日4400K	・青色申告の実施		77 12	・青色申告の実施
農業従事の態様等	・休日制の導入	農業従事の態	様笙	17 — 1 — 2 2 2 2
及水风子。心心以	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止	及水化子び心	137 1	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
営農類型 経営規模		営農類経営規		夏秋ピーマン+水稲 〈経営面積〉 4.0ha 〈作付面積〉 夏秋ピーマン 0.4ha 水稲 3.6ha
労 働 力	· ""	労働		主たる従事者 1人
)J (#) /J	補助従事者 1人		/3	補助從事者 1人
生 産 方 式		生産方		〈主要施設〉
	(上女地成/ 農舎(100㎡)、ピーマン支柱(40 a)		20	大工タルには
	〈主要農機具〉			〈主要農機具〉
	トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、			トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り
	3 人共同)、乾燥機(3,000kg、3 人共同)、籾摺り機(3 人共同)、管理機、動力噴霧器			3 人共同)、乾燥機(3,000kg、3 人共同)、籾摺り機(3 人共同)、管理機、動力噴霧器
	(6 PS)、普通トラック			(6PS)、普通トラック
	〈技術等〉			〈技術等〉
	・水稲は主要機械を3人で共同利用			・ピーマンは共同選果場利用
		1 1		・ピーマンはセル苗利用
		1 1		
	・ピーマンは共同選果場利用	経党管理の	方注	
経覚管理の方法	・ピーマンは共同選果場利用・ピーマンはセル苗利用	経営管理の	方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
経営管理の方法	・ピーマンは共同選果場利用 ・ピーマンはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。			・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施
	・ピーマンは共同選果場利用 ・ピーマンはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施	経営管理の対		・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施・休日制の導入
経営管理の方法 農業従事の態様等	・ピーマンは共同選果場利用 ・ピーマンはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。			・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施

製山村農業地帯】[個別経営体] 施設型 営 農 類 型 雨よけトマト+水稲 経 営 規 模 〈経営面積〉 4.05ha	経営規模	雨よけトマト+水稲 〈経営面積〉 4.05ha 〈作付面積〉 雨よけトマト 0.45ha 水稲 3.60ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 1人
経 営 規 模 (経営面積) 4.05ha	経営規模 労働力	《経営面積》 4.05ha 《作付面積》 雨よけトマト 0.45ha 水稲 3.60ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 1人 《主要施設》 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 《主要農機具》 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式 除機、普通トラック
経 営 規 模 (経営面積) 4.05ha	経営規模 労働力	《経営面積》 4.05ha 《作付面積》 雨よけトマト 0.45ha 水稲 3.60ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 1人 《主要施設》 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 《主要農機具》 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式 除機、普通トラック
(作付面積) 雨よけトマト 0.45ha 水稲 3.60ha 水稲 3.60ha 3.60ha が稲 3.60ha カ 主たる従事者 1人 補助従事者 1人	労 働 力	《作付面積》 雨よけトマト 0.45ha 水稲 3.60ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 1人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式降機、普通トラック
水稲 3.60ha 注たる従事者 1人 注 産 方 式 (主要施設) 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式動力噴霧機、普通トラック (技術等) ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		水稲 3.60ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式 除機、普通トラック
 労 働 力 主たる従事者 1人 補 助 従 事者 1人 生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3 人共同)、田植機(乗用6条、3 人共同)、コンバイン(4条刈り、3 人共同)、乾燥機(3,000kg、3 人共同)、籾摺り機(3 人共同)、管理機、自走式動力噴霧機、普通トラック 〈技術等〉 ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 		主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式 除機、普通トラック
# 助 従 事 者 1 人 生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3 人共同)、田植機(乗用 6 条、3 人共同)、コンバイン(4 条刈り、3 人共同)、乾燥機(3,000kg、3 人共同)、籾摺り機(3 人共同)、管理機、自走式動力噴霧機、普通トラック 〈技術等〉 ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		補助従事者 1人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式降機、普通トラック
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式動 力噴霧機、普通トラック 〈技術等〉 ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	生 産 方 式	《主要施設》 農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 《主要農機具》 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式 除機、普通トラック
農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式動力噴霧機、普通トラック (技術等) ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	工座刀式	農舎(100㎡)、ビニールハウス(45 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式 除機、普通トラック
(主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式動力噴霧機、普通トラック (技術等) ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式 除機、普通トラック
トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式動力噴霧機、普通トラック(技術等) ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式降機、普通トラック
3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式動力噴霧機、普通トラック (技術等) ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、自走式 除機、普通トラック
力噴霧機、普通トラック 〈技術等〉 ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		除機、普通トラック
(技術等) ・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		
・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用 ・トマトはセル苗利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		〈技術等 <i>〉</i>
・トマトはセル苗利用 を営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		
圣営管理の方法 · 複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		・トマトは雨よけ栽培、共同選果場利用
	to M. Maria and J. M.	・トマトはセル苗利用
・青色甲告の実施	経営管理の方法	
		・青色申告の実施
農業従事の態様等 ・休日制の導入	農業従事の態様等	
・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止		・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
経 営 規 模 (経営面積) 0.8ha 〈作付面積〉 雨よけピオーネ 0.4ha	経営規模	〈作付面積〉 雨よけピオーネ 0.4ha
もも 0. 2ha		もも 0. 2ha
雨よけ青系ブドウ 0.2ha		雨よけ青系ブドウ 0.2ha
労 働 力 主たる従事者 1人	労 働 力	主たる従事者 1人
補助従事者 2人		補助従事者 2人
三 産 方 式 〈主要施設〉	生 産 方 式	〈主要施設〉
農舎(100㎡)、ぶどう棚(60a)、雨よけ施設(60a)		農舎(100 m²)、ぶどう棚(60a)、雨よけ施設(60a)
〈主要農機具〉		〈主要農機具〉
管理機、クローラー運搬車、動力噴霧器(6PS)、普通トラック		管理機、動力噴霧器(6 PS)、普通トラック
〈技術等〉		〈技術等〉
・ぶどうは平棚栽培、無核化処理		・ぶどうは平棚栽培、無核化処理
・網掛け・袋掛け栽培を併用	経営管理の方法	
経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。		・青色申告の実施
・青色申告の実施	農業従事の態様等	7, = 1 71 1 1 1 1
農業従事の態様等・休日制の導入	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止		
スポパーサップの間にが正当日では下でのの信事が図った。		

		変 更 前
農山村農業地帯】〔組織経営体〕土地利用型	【農山村農業地帯】〔〕	組織経営体〕土地利用型
営 農 類 型 水稲+大豆+水稲作業受託	営 農 類 型	水稲+大豆+水稲作業受託
経 営 規 模 〈経 営 面 積〉 36.0ha	経営規模	〈経 営 面 積〉 36.0ha
〈作 付 面 積〉 水稲 18.0ha		〈作 付 面 積〉 水稲 18.0ha
大豆 18.0ha		大豆 18.0ha
〈作業受託面積〉 20.0ha(田植え10.0ha、収穫10.0ha)		〈作業受託面積〉 20.0ha(田植え10.0ha、収穫10.0ha)
第 働 力 │ 主たる従事者 2人	労 働 力	主たる従事者 2人
補助従事者 2人		補助従事者 2人
· 産 方 式 〈主要施設〉	生 産 方 式	
農舎(500 m²)		農舎(500 m²)
〈主要農機具〉		〈主要農機具〉
トラクター(<u>25</u> PS、2台)、田植機(側条施肥機付き乗用6条、2台)、コンバイン(乗		トラクター(<u>30</u> PS、2台)、田植機(側条施肥機付き乗用6条、2台)、コンバイン(乗
用3条、2台)、普通トラック(2台)、ロータリーハロー(2台)、大豆用コンバイン		用3条、2台)、普通トラック(2台)、ロータリーハロー(2台)、大豆用コンバイン
(2条刈り、2台)、大豆選別機(形状選別、2台)、動力噴霧器2台、乗用管理機(管		(2条刈り、2台)、大豆選別機(形状選別、2台)、動力噴霧器2台、乗用管理機(管
理専用、2台)、大豆乾燥機(2台)		理専用、2台)、大豆乾燥機(2台)
〈技術等〉		〈技術等〉
・水稲はヘリ防除 <u>(委託)</u> 、カントリーエレベーター利用	Acre NI belie with - 1 NI	・水稲はヘリ防除、カントリーエレベーター利用
全営管理の方法 ・経営体の体質強化のため、自己資本の充実を図る。	経営管理の方法	
と業従事の態様等 ・従事者全員の社会保険への加入 ************************************	農業従事の態様等	
・労働環境の快適化を進めるため、農作業環境の改善を図る。	L	・労働環境の快適化を進めるため、農作業環境の改善を図る。

	変			変 更 前
	【平地農業地帯】			【平地農業地帯】
平地農業地帯】〔個別	引経営体〕土地利用型	【平地農業地帯】	〔個	別経営体〕土地利用型
営 農 類 型	水稲+麦+大豆+水稲作業受託	営 農 類	型	水稲+麦+大豆+水稲作業受託
経営規模	〈経 営 面 積〉 15.0ha	経営規		
	〈作 付 面 積〉 水稲 10.0ha		150	〈作 付 面 積〉 水稲 12.0ha
	<u>はだか</u> 麦 <u>10.0</u> ha			裸麦 12.0ha
	大豆 <u>5. 0</u> ha			大豆 3.0ha
	〈作業受託面積〉 8.0ha (田植え4.0ha、収穫4.0ha)			〈作業受託面積〉 8.0ha (田植え4.0ha、収穫4.0ha)
労 働 力		労働	力	主たる従事者 1人
,	補助從事者 2人		,	補助従事者 2人
生 産 方 式		生産方	式	
<u> </u>	農舎(100㎡)			農舎(100㎡)
	〈主要農機具〉			〈主要農機具〉
	トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用4条)、普			トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用4条)、普
	通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、大豆用コンバイン(2条刈り)、大			通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、大豆用コンバイン(2条刈り)、大
	豆選別機(形状選別)、ブームスプレイヤー、大豆乾燥機、ロータリー、麦・大豆播			豆選別機(形状選別)、ブームスプレイヤー、大豆乾燥機、ロータリー、麦・大豆播
	種機			種機
	〈技術等〉			〈技術等〉
	・水稲は育苗センター利用、高速施肥田植機使用、稚苗移植疎植栽培、ヘリ防除			・水稲は育苗センター利用、高速施肥田植機使用、稚苗移植疎植栽培、ヘリ防除
	・水稲、はだか麦はカントリーエレベーター利用			・水稲、裸麦はカントリーエレベーター利用
	・はだか麦はドリル播栽培・大豆は密植無中耕無培土栽培			・裸麦はドリル播栽培・大豆は密植無中耕無培土栽培
経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の	方法	
	・青色申告の実施		7 12	・青色申告の実施
dis 136 at the table at the table	1/ - 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2			17 2 1 2 7 7 7 7 2
農業従事の態様等	・休日制の導入	農業従事の態	様等	・休日制の導入
農業従事の態様等	・休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止	農業従事の態	様等	・休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止			・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
平地農業地帯】〔個別	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型	【平地農業地帯】	〔個〕	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型
平地農業地帯】〔個5	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 引経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦	【平地農業地帯】	〔個〕 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦
平地農業地帯】〔個5営 農 類 型	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 	【平地農業地帯】	〔個〕 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha
平地農業地帯】〔個5営 農 類 型	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 	【平地農業地帯】	〔個〕 型	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 <u>8.0</u> ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha
平地農業地帯】〔個5営 農 類 型	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 <u>8.8</u>ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha 	【平地農業地帯】	〔個〕 型	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 機麦 6.0ha
平地農業地帯】〔個5 営 <u>農類型</u> 経営規模	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 <u>8.8</u>ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha <u>はだか</u>麦 6.0ha さといも 1.5ha 	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規	〔個〕 型 模	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 <u>8.0</u>ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha <u>裸</u>麦 6.0ha さといも 0.7ha
平地農業地帯】〔個5 営 <u>農類型</u> 経営規模	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha さといも 1.5ha 主たる従事者 1人 	【平地農業地帯】	〔個〕 型 模	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 推麦 6.0ha さといも 0.7ha 主たる従事者 1人
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha さといも 1.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 機麦 6.0ha さといも 0.7ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha さといも 1.5ha 主たる従事者 1人 〈主要施設〉 	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規	型模力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha さといも 1.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 撰麦 6.0ha さといも 0.7ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha さといも 1.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 撰表 6.0ha さといも 0.7ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 裸麦 6.0ha さといも 0.7ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha さといも 1.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要機機具〉 トラクター(33PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、ロータリーハロー、麦大豆播種機(鎮圧ローラー付)、ライムソアー、	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 裸麦 6.0ha さといも 0.7ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、ロータリーハロー、鎮圧ローラー、ライムソアー、コンテナ(200)、さ
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.8ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha さといも 1.5ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要機機具〉 トラクター(33PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、ロータリーハロー、麦大豆播種機(鎮圧ローラー付)、ライムソアー、コンテナ(200)、さといも掘取機(トラクター用)、マルチャー、動力噴霧器(6PS)	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 記といも十水稲+麦	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 撰表 6.0ha さといも 0.7ha 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、ロータリーハロー、鎮圧ローラー、ライムソアー、コンテナ(200)、さといも掘取機(トラクター用)、マルチャー、動力噴霧器(6PS) 〈技術等〉
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 記といも十水稲+麦	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働力	 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 (経営面積) 8.8ha (作付面積) 水稲 7.3ha はだか麦 6.0ha さといも 1.5ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 1人 (主要施設) 農舎(100㎡) (主要農機具) トラクター(33PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、ロータリーハロー、麦大豆播種機(鎮圧ローラー付)、ライムソアー、コンテナ(200)、さといも掘取機(トラクター用)、マルチャー、動力噴霧器(6PS)(技術等) ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲、はだか表はカントリーエレベーター利用 	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	型模力	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働方式	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 記述を	【平地農業地帯】 宮農類 経営規 労産方	個型模 力 式	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体) 土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha 機表 6.0ha さといも 0.7ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 1人 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、ロータリーハロー、鎮圧ローラー、ライムソアー、コンテナ(200)、さといも掘取機(トラクター用)、マルチャー、動力噴霧器(6PS) 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲、裸麦はカントリーエレベーター利用 ・さといもは掘取機、根切断機使用、共同選果場利用
平地農業地帯】〔個別 営農類型 経営規模 労働方式	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止	【平地農業地帯】 営 農 類 経 営 規 労 働	個型模 力 式	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体)土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha
平地農業地帯】〔個5 営農類型 経営規模 労働力式 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止	【平地農業地帯】 営農類 経営管理の	個型模 力 式 法	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha
平地農業地帯】[個別	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止	【平地農業地帯】 宮農類 経営規 労産方	個型模 力 式 法	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 さといも+水稲+麦 〈経営面積〉 8.0ha 〈作付面積〉 水稲 7.3ha

変 更	後		変 更 前
平地農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型		【亚地農業地帯】〔個	別経営体〕土地利用型
営農類型 レタス+水稲+麦			レタス+水稲+麦
<u> </u>		経営規模	
			1
〈作付面積〉 水稲 5.0ha			〈作付面積〉 水稲 5.0ha
<u>はだか</u> 麦 3.0ha			裸麦 3.0ha
レタス 2.0ha		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	レタス 2.0ha
労 働 力 主たる従事者 1人		一 労 働 力	主たる従事者 1人
補助従事者 2人			補助従事者 2人
生産方式(主要施設)		生 産 方 式	
農舎(100㎡)			農舎(100 m²)
〈主要農機具〉			〈主要農機具〉
トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き	き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普		トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、
通トラック、ロータリーハロー、鎮圧ロー	-ラー、ライムソアー、レタス包装機、マ		通トラック、ロータリーハロー、鎮圧ローラー、ライムソアー、レタス包装機、
ルチャー、動力噴霧器(6PS)			ルチャー、動力噴霧器(6PS)
〈技術等〉			〈技術等〉
・水稲は高速施肥田植機使用			・水稲は高速施肥田植機使用
・水稲、 <mark>はだか</mark> 麦はカントリーエレベータ	7一利用		・水稲、裸麦はカントリーエレベーター利用
・レタスは包装機使用			・レタスは包装機使用
経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の		経営管理の方法	
・青色申告の実施	· 74 the C E G 0 0		・青色申告の実施
農業従事の態様等・休日制の導入		農業従事の態様等	
・農繁期における臨時雇用者の確保による	いる。日本の時代は、「日本の時代」	及木灰子の心が守	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
75-21-77 W PHR 47-127 E PHEFIT - 01 W	7 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 1		72.77.77.1-4-17. White 17.11.14 II - 181.14 - 04 W.Z.1.77 PM - 194.14
平地農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型		【平地農業地帯】〔個	別経営体〕土地利用型
営 農 類 型 ほうれんそう+水稲			ほうれんそう+水稲
経 営 規 模 〈経営面積〉 10.0ha		経営規模	
			〈作付面積〉 水稲 9. 2ha
ほうれんそう 0.8ha			ほうれんそう 0.8ha
労 働 力 主たる従事者 1人		労 働 力	主たる従事者 1人
補助従事者 1人			補助従事者 2人
		# 亲 士 士	/ 十一
生 産 方 式 〈主要施設〉		生 産 方 式	
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)		生 産 方 式	農舎(100㎡)
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉	た	生 産 方 式	農舎 (100 ㎡) 〈主要農機具〉
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き		生 産 方 式	農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>30</u> PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き 通トラック、ロータリーハロー、ライムソ		生 産 方 式	農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、 通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS)
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き 通トラック、ロータリーハロー、ライムソ 〈技術等〉		生 産 方 式	農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、 通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS) 〈技術等〉
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き 通トラック、ロータリーハロー、ライムソ 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用		生 産 方 式	農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、 通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS) 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き 通トラック、ロータリーハロー、ライムソ 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用	ソアー、 <u>自走式</u> 動力噴霧器(6PS)		農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS) 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き 通トラック、ロータリーハロー、ライムソ 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用	ソアー、 <u>自走式</u> 動力噴霧器(6PS)	生 産 方 式 経営管理の方法	農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、 通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS) 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き 通トラック、ロータリーハロー、ライムソ 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用	ソアー、 <u>自走式</u> 動力噴霧器(6PS)		農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、 通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS) 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用
生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(<u>33</u> PS)、田植機(側条施肥機付き 通トラック、ロータリーハロー、ライムソ 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の	ソアー、 <u>自走式</u> 動力噴霧器(6PS)		農舎(100㎡) 〈主要農機具〉 トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS) 〈技術等〉 ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施

通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6 PS) (技術等) ・水稲は高速施肥田植機使用 ・水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式無記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 平地農業地帯】 [個別経営体] 土地利用型 営 農 類 型 夏秋なナナ水稲 経 営 規 模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労 カ 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機長) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンパイン(4条刈り、トラクター(25PS、3人共同)、日本経験に対しませば、大田では対しませば、大田では対しませば、大田では対しませば、大田では対しませば、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では		変更後	変 更 前
 歴 兼 財 型 / コッコーナ水局 区 会 対 規 (経合館の) 1.0 to (作作回移) 水館 1.1.3ba / (作作回称) (主管議長)	·孙甫·张孙丰】〔何6	山奴 <i>没 体</i>)	【亚州典类州共】〔何则奴受休〕 土地利田刑
 経 宮 現 極 (経営証む) 13.0ms (付付面形) 水部 11.2ms			
(作性類形) 未彰 1.2 ha			
が 申 カ 主たる後来者 1人 福助後等者 1人 福島後等者 1人 福島のから (主要施設) 東倉 (100㎡) (主要施設) (技術等) (大衛は深遊池田和極後円 ・格は3ントリーエレベーター利用 ・格は3ントリーエレベーター利用 ・格は3ントリーエレベーター利用 ・格は3ントリーエレベーター利用 ・ 後に深海流液の多数により起営と家計の分類を図る。 ・青色中の火塩 東海における協・毎日 日後後年 1人 (経常が) た 100㎡人 ・農業施における協・毎日 日後後年 1人 (経常が) た 100㎡人 ・農業施における協・毎日 日後後年 2人 (経常が) 5、50㎡	と 宮 規 模		
第 東 五 左 方 後 手 香 1 人			
世 底 方 式 (主要施設)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>
年 廃 方 式 (主要施設)			
(上・京の農機長) トラクター(2078)、旧核機 (側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(618)(技術等) ・水部は海湿地に旧核機使用 ・水部は海湿地の方法・ 様式海湿温吸の実施により経営と家計の分離を図る。 ・古色中帯の実施 農業体事の態深等 ・ (日和の専入 ・ 漫路部に対ける臨時雇用者の確保による過重労働の防止 経営管理の方法・ 常 規	E 産 方 式	〈主要施設〉	生 産 方 式 〈主要施設〉
トラクター (②PS)、 四桂銭 (倒条施肥機付き乗用6条)、コンパイン (乗用3条)、普遍トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器 (61S) (技術等) ・ 水龍はカントリーエレベーター利用 ・ 深電が設立証板の実際により経営と家計の分離を図る。 ・ 声空中色の実施 - 異素定事の診験等 ・ 作用卵の導入 ・ 農業原土 対 (経質面形) を対している場所の表している場所の助止 「空機業地帯」 (倒別経営体) 土地利用型 ・ 産		農舎(100 m²)	農舎(100㎡)
通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力喧嚣器(6PS) (技術等) ・水稲はカントリーエレベーケー利用 ・ 水稲はカントリーエレベーケー利用 ・ 水稲はカントリーエレベーケー利用 ・ 投水管は直眺の実施により経営と家計の分離を図る。 ・ 古色中金の実施 ・ 水田の両へ ・ 農業期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 ※ 経営 型 変称なす - 木田 間の極営体 - 土地利用型 ※ 長 類 型 変称なす - 木田 間の 変称 (佐賀面院) 5. 4ha (作行面院) 変状なす 0. 4ha 水稲 (作行面院) 変状なす 0. 4ha 水稲 (作行面院) 変状なす 0. 4ha 水稲 (作行面院) 変状なす 0. 4ha (作行面院) 変状な (企業を) (主要機具) トラクター(25PS、3 人共同)、用植機(集用 6条、3 人共同)、コンパイン(4条 列)、3 人共同)、企業を(6 (100m)、なす支柱(40 a) (主要機具) トラクター(25PS、3 人共同)、開始機(集用 6条、3 人共同)、コンパイン(4条 列)、3 人共同)、企業を(6 (100m)、なす支柱(40 a) (主要機具) トラクター(25PS、3 人共同)、別が自身を(3 人共同)、管理機、管面トラック、動力理論等 (1 S) (技術等) 水稲は高速施肥財権機使用 (表 1 大工の企業) 水稲は高速施肥財権機使用 水稲はカントリーエレベーグ・利用 を営管 理の方法 ・複式震ぶ記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・首色中医の実施 水稲は高速施肥財権機使用 (本 日間の事人) (本 日間の事人		〈主要農機具〉	〈主要農機具〉
技術等)		トラクター(33PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、普	トラクター(30PS)、田植機(側条施肥機付き乗用6条)、コンバイン(乗用3条)、音
- ・木給は高速施肥和機械使用 - 木給はカントリーエレベーター利用 経式機配配帳の実施により経営と深計の分離を図る。 - 青色中台の実施 - ・ 中田初の導入 - 農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止		通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS)	通トラック、ロータリーハロー、ライムソアー、動力噴霧器(6PS)
 ・水稲はカントリーエレベーター利用 ・後式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・養化用側の導入 ・農繁期における臨時原用者の確保による過重労働の防止 ・機工簿記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・機工簿記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・機工簿記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・機工簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・機工簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・機工簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・機工簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・水稲は高速施即相極機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・経営管理の方法・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・水稲は高速施即相極機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・経営管理の方法・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・株は割の導入 		〈技術等〉	〈技術等〉
 ・水能はカントリーエレベーター利用 ・液気深部記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色申告の実施 ・養化目側の導入 ・農繁別における臨時用者の確保による過重労働の防止 ・経、質を事の修練等・体目側の導入 ・農繁別における臨時用者の確保による過重労働の防止 ・農業 類型 反泳な子・水幅 (格日側の導入・農繁別における臨時用者の確保による過重労働の防止 「平地農業地帯】(個別経営体) 土地利用型		・水稲は高速施肥田植機使用	・水稲は高速施肥田植機使用
経営管理の方法 ・模式離記試験の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色中台の実施 ・作日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 ・複式離記試験の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色中台の実施 ・佐日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 性 農 類 型 夏秋なす・水幅 産 営 規 模 (経営面積) 5.4ha (作性面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha (経営面積) 5.4ha (作性面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha (経営面積) 5.4ha (作性面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 方 式 (主要機械) トラクター(25PS, 3人共同)、配機機(集用6条, 3人共同)、コンパイン(4条列り、 3人共同)、党球機(3,000kg, 3人共同)、根摺り機(3人共同)、管理機、普通トラッ ク、動力確整度(6PS) (技術等) 水稲は高立か足用確機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 (生要機 (25PS, 3人共同)、即植機(集用6条, 3人共同)、コンパイン(4条列り、 3人共同)、砂球機(3,000kg, 3人共同)、規摺り機(3人共同)、管理機、普通トラッ ク、動力確整度(6PS) (技術等) 水稲は高速配田確機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 本宿はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・資色中舎の実施 ・音色中舎の実施 ・音色中舎の実施 経営管理の方法 ・者色中舎の実施 ・方色中舎の実施 ・作日制の導入 経営管理の方法 ・者色中舎の実施 ・作日制の導入 経営管理の方法 ・者色中舎の実施 ・方色中舎の実施 ・検式確認が販の実施により経営と家計の分離を図る。 ・音色中含の実施 ・方色中音の実施 ・株日制の導入			
・青色申告の実施 ・青色申告の実施 ・機工期で導入・株日間の導入・機工網用型 ・株日間の導入・機工網用の導入・機工網用の導入・機工網用の導入・機工網用の構造 ・株田間の導入・機工網用の構造 ・株田間の導入・機工網用の構造 ・株田間の導入・機工網用の構造 ・株田間の導入・機工機工はける臨時雇用者の確保による適宜労働の防止 (利息 無 類 型 更秋なす・水稲 ・ 佐田間間	経営管理の方法	• •	
農業従事の態様等 ・休日制の導入 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 (土地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 (上藤業地帯】[個別経営体] 土地利用型 音 農 類 型 夏秋なす+水稲 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 方			
・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 ・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 24地農業地帯】(個別経営体) 土地利用型 (単性農業地帯】(個別経営体) 土地利用型 富 農 類 型 夏秋なす・木稲 営 農 類 型 夏秋なす・水稲 医 常 規 模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 水稲 5.0ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 大福 5.0ha 臣 産 方 式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS, 3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンパイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、村間、機械(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥山植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 大福 (28 開東の方法) ・青色中告の実施 ・青色中告の実施 ・横式常記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色中告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入	皇業従事の能様等		
学地農業地帯】 [個別経営体) 土地利用型 【平地農業地帯】 (個別経営体) 土地利用型 高 農 類 型 夏秋な寸+水稲 監 営 規 模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 方 働 力 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 大稲 5.0ha 色 産 方 式 (主要施設) 農舎 (100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンパイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、和摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力喧霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用水稲はカントリーエレベーター利用 企業業部記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 音色申告の実施 普通申告の実施 (表 300kg、3人共同)、静経を図る。 音色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入 経営管理の方法 (表 3元素記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 音色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入	· 大风争》/总似号		
(作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha (方) (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha (古) (本要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要機提見) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用 6条、3人共同)、コンパイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、粉摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲は高速施肥田植機使用 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色中告の実施 ま業従事の態様等 ・休日制の導入			
水稲			
労 働 カ 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンパイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・休日制の導入 ・休日制の導入 サース を で ・休日制の導入 ・ 株日制の導入 ・ 株日制の導入 ・ 株日制の導入	常農類型	夏秋なす+水稲	営 農 類 型 夏秋なす+水稲
補助従事者 2人	常農類型	夏秋なす+水稲 〈経営面積〉 5.4ha	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 〈経営面積〉 5.4ha
生 産 方 式	常農類型	夏秋なす+水稲 〈経営面積〉 5.4ha 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 〈経営面積〉 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha
農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入 農業従事の態様等 ・休日制の導入	性 農 類 型	夏秋なす+水稲〈経営面積〉 5.4ha〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha水稲 5.0ha	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 〈経営面積〉 5.4ha 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha
農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入 農業従事の態様等 ・休日制の導入	性 農 類 型	夏秋なす+水稲〈経営面積〉 5.4ha〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha水稲 5.0ha主たる従事者 1人	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人
(主要農機具) トラクター(25PS、3 人共同)、田植機(乗用6条、3 人共同)、コンバイン(4条刈り、3 人共同)、乾燥機(3,000kg、3 人共同)、籾摺り機(3 人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 圣営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 (主要農機具) トラクター(25PS、3 人共同)、田植機(乗用6条、3 人共同)、コンバイン(4条刈り、3 人共同)、乾燥機(3,000kg、3 人共同)、籾摺り機(3 人共同)、管理機、普通トク、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす+水稲 〈経営面積〉 5.4ha 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人
トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、物摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・休日制の導入 ・休日制の導入 農業従事の態様等 ・休日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす+水稲 〈作付面積〉 5. 4ha 〈作付面積〉 夏秋なす 0. 4ha 水稲 5. 0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力主たる従事者 1人補助従事者 2人生産方式(主要施設)
3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 を営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・休日制の導入 3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・・木日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす+水稲 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40a)	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生産方式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a)
ク、動力噴霧費(6 PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入 ク、動力噴霧費(6 PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす + 水稲 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40a) 〈主要農機具〉	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生産方式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具)
〈技術等〉 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす+水稲 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生産方式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り
水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす+水稲 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラッ	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 〈経営面積〉 5.4ha 〈作付面積〉夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生産方式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラ
水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・株日制の導入 農業従事の態様等 ・休日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす+水稲 〈経営面積〉 5.4ha 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS)	営農類型 夏秋なす+水稲 経営規模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人補助従事者 2人 生産方式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラク、動力噴霧費(6PS)
を営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・株日制の導入 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす+水稲 〈経営面積〉 5.4ha 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) 〈技術等〉	営農類型 夏秋なす+水稲 経営面積〉 5.4ha (作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人補助従事者 2人 生産方式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラク、動力噴霧費(6 PS) (技術等)
・青色申告の実施 ・休日制の導入 ・株日制の導入	財 類 型 財 規 模 財 力	夏秋なす+水稲 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用	営農類型 夏秋なす+水稲 経営面積〉 5.4ha (作付面積〉夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労働力 主たる従事者 1人補助従事者 2人 生産方式 (主要施設〉農舎(100㎡)、なす支柱(40a)(主要農機具〉トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000㎏、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラク、動力噴霧費(6PS)(技術等〉水稲は高速施肥田植機使用
農業従事の態様等 · 休日制の導入 農業従事の態様等 · 休日制の導入	財 類 型 財 規 模 方 働 力 正 産 方 式	夏秋なす+水稲 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用 水稲は力ントリーエレベーター利用	営 農 類 型 夏秋なす+水稲 経 営 規 模 〈経営面積〉 5.4ha (作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラク、動力噴霧費(6PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用水稲はカントリーエレベーター利用
	財 類 型 財 規 模 方 働 力 正 産 方 式	受赦なす+水稲	営 農 類 型 夏秋なす+水稲 経 営 規 模 〈経営面積〉 5.4ha (作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
「辰糸別に心ける噛时准用4 V唯体による週里刀関V別工 「辰糸別に心ける噛时准用4 V唯体による週里力関V別工 「辰糸別に心ける噛时准用4 V唯体による週里力関V別工	芸農類型 芸婦 力 香藤 方式 産産 方式	夏秋なす + 水稲 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施	営 農 類 型 夏秋なす+水稲 経 営 規 模 〈経営面積〉 5.4ha 《作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要農機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラク、動力噴霧費(6PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施
	芸農類型 芸婦 力 香藤 方式 産産 方式	(経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha またる従事者 1人 補助 従事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要機機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・休日制の導入	営 農 類 型 夏秋なす+水稲 経 営 規 模 (経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労 働 力 主たる従事者 1人補助従事者 2人 生 産 方 式 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要農機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用 6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラク、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入
	芸農類型 芸婦 力 香藤 方式 産産 方式	(経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha またる従事者 1人 補助 従事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要機機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・休日制の導入	営 農 類 型 夏秋なす+水稲 経 営 規 模 〈経営面積〉 5.4ha 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要機機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラク、動力噴霧費(6 PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入
	農類型 農類規模 付加 方面 正確方式 方式	(経営面積) 5.4ha (作付面積) 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha またる従事者 1人 補助 従事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) (主要機機具) トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラック、動力噴霧費(6 PS) (技術等) 水稲は高速施肥田植機使用 水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・休日制の導入	営 農 類 型 夏秋なす+水稲 経 営 規 模 〈経営面積〉 5.4ha 〈作付面積〉 夏秋なす 0.4ha 水稲 5.0ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、なす支柱(40 a) 〈主要機機具〉 トラクター(25PS、3人共同)、田植機(乗用6条、3人共同)、コンバイン(4条刈り、3人共同)、乾燥機(3,000kg、3人共同)、籾摺り機(3人共同)、管理機、普通トラク、動力噴霧費(6 PS) 〈技術等〉 水稲は高速施肥田植機使用水稲はカントリーエレベーター利用 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入

	変	変 更 前
	III(전 쓰 부-) - [III-소)[田포II	
	別経営体〕土地利用型	【平地農業地帯】〔個別経営体〕土地利用型
	たまねぎ+水稲	営 農 類 型
経営規模	〈経営面積〉 12.0ha	経 営 規 模 〈経営面積〉 12.0ha
	〈作付面積〉 たまねぎ 1.5ha	(作付面積) たまねぎ 1.5ha
	水稲 10.5ha	水稲 10.5ha
労 働 力		労 働 力 主たる従事者 1人
	補助從事者 1人	補助従事者 1人
生 産 方 式	〈主要施設〉	生 産 方 式 〈主要施設〉
	農舎(100 m²)	農舎(100 m²)
	〈主要農機具〉	
	トラクター(33PS)、田植機(乗用6条)、コンバイン(3条刈り)、ロータリーハロー、	トラクター(30PS)、田植機(乗用6条)、コンバイン(3条刈り)、ロータリーハロー
	ライムソアー、ブームスプレイヤー、普通トラック、動力噴霧費(6PS)、播種機、	ライムソアー、ブームスプレイヤー、普通トラック、動力噴霧費(6 PS)、播種機
	移植機、収穫機	移植機、収穫機
	〈技術等〉	〈技術等〉
	水稲は高速施肥田植機使用	水稲は高速施肥田植機使用
	水稲はカントリーエレベーター利用	水稲はカントリーエレベーター利用
経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
	・青色申告の実施	・青色申告の実施
農業従事の態様等	・休日制の導入	農業従事の態様等・休日制の導入
	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止 【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営 農 類 型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平
営農類型	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営農類型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経営規模 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha
営農類型	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営農類型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経営規模 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha
営 農 類 型経 営 規 模	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営農類型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経営規模 (経営面積) 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha
営 農 類 型 経 営 規 模	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 主たる従事者 1人	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営農類型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経営規模 (経営面積) 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha
営農類 類型 経営 規模 労働 力	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営農類型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経営規模 《経営面積》 2.2ha
営農類 類型 経営 規模 労働 力	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営 農 類 型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経 営 規 模 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 〈主要施設〉
営 農 類 型 経 営 規 模	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2. 2ha 〈作付面積〉 いよかん 1. 2ha 不知火 0. 3ha 優良中晩柑 0. 5ha 甘平 0. 2ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌 条運搬施設(350m)	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営 農 類 型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経 営 規 模 (経営面積) 2.2ha (作付面積) いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha
営農類型 経営規模 が働力	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220a)、単軌	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営 農 類 型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経 営 規 模 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha
営農類 類型 経営 規模 労働 力	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌 条運搬施設(350m) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS)	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営 農 類 型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経 営 規 模 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 生 産 方 式 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単す 条運搬施設(350m) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS)
営 機 類 型 経 営 規 力 労 働 力 式	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2. 2ha 〈作付面積〉 いよかん 1. 2ha 不知火 0. 3ha 優良中晩柑 0. 5ha 甘平 0. 2ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌 条運搬施設(350m) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS) 〈技術等〉	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営 農 類 型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経 営 規 模 〈経営面積〉 2. 2ha 〈作付面積〉 いよかん 1. 2ha 不知火 0. 3ha 優良中晩柑 0. 5ha 甘平 0. 2ha
営農類 類型 経営 規模 労働 力	別経営体〕土地利用型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 〈経営面積〉 2.2ha 〈作付面積〉 いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単軌条運搬施設(350m) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS) 〈技術等〉 ・防除はスプリンクラー方式 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	【平地農業地帯】[個別経営体] 土地利用型 営 農 類 型 いよかん+不知火+優良中晩柑+甘平 経 営 規 模 (経営面積) 2.2ha (作付面積) いよかん 1.2ha 不知火 0.3ha 優良中晩柑 0.5ha 甘平 0.2ha 労 働 力 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 生 産 方 式 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(180㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(220 a)、単東条運搬施設(350m) (主要農機具) 単軌条運搬機(4台)、普通トラック、コンテナ(4,000)、動力噴霧機(6 PS) (技術等) ・防除はスプリンクラー方式 経営管理の方法 複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。

(国の経合体) 土地利用型 2		変		変更前
営 農 類 型 うんしゅうみかん+いよかん+優良中晩梢+甘平+キウイフルーツ 経営面積	【平地農業地帯】「個	別経営体〕土地利用型	 【平地農業地帯】「個	別経営体〕土地利用型
労働力 主たる従事者 1人 構助従事者 1人 補助従事者 1人 生産方式 (主要施設) 農舎(99㎡)、貯蔵庫(100㎡)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリンクラー(160 a)、単軌条運搬施設(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) 生産方式 (主要施設) 企業機機設(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) (主要機製) 単軌条運搬機(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) (主要機製) 単軌条運搬機(300m)、キウイフルーツ間(20 a) (主要機製) 単軌条運搬機(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) (主要機製) ・助除はスプリンクラー方式 ・うんしゅうみかんの摘果は摘果利利用 ・うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併用 ・キウイフルーツは平棚栽培 ・キウイフルーツは平棚栽培 ・経営管理の方法 経営管理の方法 経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・農工機能の実施により経営と家計の分離を図る。・青色申告の実施 ・株日制の導入 農業従事の態様等 ・休日制の導入	営 農 類 型	うんしゅうみかん+いよかん+優良中晩柑+甘平+キウイフルーツ 〈経営面積〉 1.6ha 〈作付面積〉 早生うんしゅう 0.3ha いよかん 0.5ha 優良中晩柑 0.4ha 甘平 0.2ha	営 農 類 型	うんしゅうみかん+いよかん+優良中晩柑+甘平+キウイフルーツ〈経営面積〉 1.6ha〈作付面積〉 早生うんしゅう 0.3haいよかん 0.5ha優良中晩柑 0.4ha甘平 0.2ha
 条運搬施設(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) (主要農機具) 単軌条運搬機(2台)、普通トラック、コンテナ(1,500)、動力噴霧機(6 PS) (技術等) ・防除はスプリンクラー方式 ・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用 ・うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併用 ・キウイフルーツは平棚栽培 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 農業従事の態様等 ・休日制の導入 条運搬施設(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) (主要農機具) 単軌条運搬機(3台)、普通トラック、コンテナ(2,500)、動力噴霧機(6 PS) (技術等) ・ 防除はスプリンクラー方式 ・ うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用 ・ うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併用 ・ キウイフルーツは平棚栽培 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・ 株日制の導入 		主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉		主たる従事者 1人 補助従事者 1人 〈主要施設〉
経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・株日制の導入 ・ 株日制の導入 ・ 複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・株日制の導入		条運搬施設(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(<u>2</u> 台)、普通トラック、コンテナ(<u>1,500</u>)、動力噴霧機(6 PS) 〈技術等〉 ・防除はスプリンクラー方式 ・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用 ・うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併用		条運搬施設(300m)、キウイフルーツ棚(20 a) 〈主要農機具〉 単軌条運搬機(3 台)、普通トラック、コンテナ(2,500)、動力噴霧機(6 PS) 〈技術等〉 ・防除はスプリンクラー方式 ・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用 ・うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併用
農業従事の態様等・休日制の導入	経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
	農業従事の態様等	・休日制の導入	農業従事の態様等	・休日制の導入

		変更前
【平地農業地帯】〔個別		【平地農業地帯】〔個別経営体〕施設型
営農類型	施設うんしゅうみかん+うんしゅうみかん+施設中晩柑+施設愛媛果試第28号	営 農 類 型 施設うんしゅうみかん+うんしゅうみかん+施設中晩柑+施設愛媛果試第28号
経営規模	〈経営面積〉 1.5ha	経 営 規 模 〈経営面積〉 1.5ha
	〈作付面積〉 施設うんしゅう 0.2ha	〈作付面積〉 施設うんしゅう 0.2ha
	極早生うんしゅう 0.2ha	極早生うんしゅう 0.2ha
	早生うんしゅう 0.6ha	早生 うんしゅう 0.6ha
	施設愛媛果試第28号 0. 2ha	施設愛媛果試第28号 0. 2ha
	施設中晩柑 0. 3ha	施設中晚柑 0. 3ha
労 働 力		労 働 力 主たる従事者 1人
	補助従事者 2人	
4. * + +		
生 産 方 式	, , , , , , ,	生産方式(主要施設)
	農舎(66㎡)、ハウス施設(愛媛果試第28号)(20a)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリン	農舎(66㎡)、ハウス施設(愛媛果試第28号)(20a)、貯水槽(50㎡)、多目的スプリン
	クラー(80 a)、単軌条運搬施設(100m)、ハウス施設(みかん)(20 a)、ハウス施設	クラー(80 a)、単軌条運搬施設(100m)、ハウス施設(みかん)(20 a)、ハウス施設
	(中晩柑) (30 a)、ヒートポンプ (20a)	(中晩柑) (30 a)、ヒートポンプ (20a)
	〈主要農機具〉	〈主要農機具〉
	単軌条運搬機、普通トラック、コンテナ(<u>2,800</u>)、動力噴霧機(6PS)	単軌条運搬機、普通トラック、コンテナ(<u>1,500</u>)、動力噴霧機(6 PS)
	〈技術等〉	
	・露地みかんの防除はスプリンクラー方式	・露地みかんの防除はスプリンクラー方式
	・加温は重油暖房機とヒートポンプの併用	・加温は重油暖房機とヒートポンプの併用
	・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用	・うんしゅうみかんの摘果は摘果剤利用
	・うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併用	・うんしゅうみかんはマルチ栽培及び完熟栽培を併用
	・施設うんしゅうみかんは早期加温と後期加温の組合せ	・施設うんしゅうみかんは早期加温と後期加温の組合せ
	・愛媛果試第28号は雨よけ施設	・愛媛果試第28号は雨よけ施設
経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
	・青色申告の実施	・青色申告の実施
農業従事の態様等	・休日制の導入	農業従事の態様等・休日制の導入
及水风子。心心风	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
	及宏州でもいりの間では一日の特別にあるが重力的の方面	及条列で続け、金属の存在力は、金属の行性の
【平地農業地帯】〔個別	引経党体〕施設型	【平地農業地帯】〔個別経営体〕施設型
営農類型		営 農 類 型 施設高設いちご+水稲
経営規模		経 営 規 模 〈経営面積〉 6.3ha
	〈作付面積〉 施設高設いちご 0.30ha	
	水稲 6.00ha	水稲 6.00ha
労 働 力	· '''	
労 働 力	補助従事者 3人	労 働 力 主たる従事者 1人
生 産 方 式		生産方式〈主要施設〉
	、工安施設/ 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×6棟)、高設栽培装置〔簡易〕(一式)	上
	〈主要農機具〉	〈主要農機具〉
	温風暖房機(3台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コ	温風暖房機(3台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コ
	ンバイン(乗用3条)、普通トラック	ンバイン(乗用3条)、普通トラック
経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
	・青色申告の実施	・青色申告の実施
農業従事の態様等	・休日制の導入	農業従事の態様等・休日制の導入
W/K/K/C 1> IEVIN A	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
	ACM/MICACIA O MILITATE / HIT T * Z HE I/NIC O O MU 出 / MI	AX 示/y(T = q > 1 / O Mill of / E / D T = 7 / E / P (C の の 型 主 / J 関 * 2 P / D / D · L

平地農業地帯】〔個別線営 農 類 型 が			変 更 前
営農類型 加	怒带休〕梅 碧刑	【平地農業地帯】〔個〕	別級労休〕 塩穀刑
			施設きゅうり+水稲
経営規模へ		経 営 規 模	
(作付面積〉 施設きゅうり 0.4ha		〈作付面積〉 施設きゅうり 0.4ha
)// KI I	水稻 6. 5ha	,,, ki t	水稻 6. 5ha
	主たる従事者 1人 甫助 従 事者 3人	労	主たる従事者 1人 補助従事者 3人
生産方式く	主要施設〉	生 産 方 式	〈主要施設〉
	農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)		農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)
(主要農機具〉		〈主要農機具〉
· · ·	温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コ		温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コ
	ンバイン(乗用3条)、普通トラック		ンバイン(乗用3条)、普通トラック
	(技術等)		〈技術等〉
I '	・水稲はカントリーエレベーター利用		・水稲はカントリーエレベーター利用
	施設きゅうりは共同選果場利用		・施設きゅうりは共同選果場利用
		タ 労 佐 田 の 土 汁	
	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法	
	・青色申告の実施		・青色申告の実施
	・休日制の導入	農業従事の態様等	
	・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止		・農繁期における臨時雇用者の確保による過重労働の防止
	拖設トマト+水稲		別経営体〕施設型 施設トマト+水稲
営農類型 選規模			別経営体〕施設型 施設トマト+水稲
農 類 型 M	施設トマト+水稲 経営面積〉 6.9ha 作付面積〉 施設トマト 0.40ha	営農類型経営規模	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha
営農類型 経営規模 イ が働力	施設トマト+水稲 (経営面積) 6.9ha (作付面積) 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha	営農類型経営規模	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha
営農類型 経営規模 イ が働力 対解	施設トマト+水稲 経営面積〉 6.9ha 作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 浦助 従 事者 2人	営農類型経営規模	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人
財 類 型 財 人 財 力 財 力 財 力 財 力 財 力 財 力 財 力 財 力 対 対 対 力 対 対 対 力 対 対 対 力 対 対 対 力 <	施設トマト+水稲 経営面積〉 6.9ha 作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 浦助 従 事者 2人	営農類型 経営規模 労働力	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人
財 類 型 が 経 営 規 模 〈 労 働 力 当 生 産 方 式 〈	施設トマト+水稲 (経営面積〉 6.9ha (作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 甫助従事者 2人 (主要施設〉	営農類型 経営規模 労働力	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉
財 類 型 財 規 人 財 動 力 財 産 方 本	施設トマト+水稲 (経営面積) 6.9ha (作付面積) 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 甫助従事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 (主要農機具)	営農類型 経営規模 労働力	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 〈主要農機具〉
営農類型 経営規模 労働 力当額 生産方式	施設トマト+水稲 (経営面積〉 6.9ha (作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 甫助 従 事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 (主要農機具〉 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コ	営農類型 経営規模 労働力	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 〈主要農機具〉 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コ
営農類型 機器 類様 経営規模 労働 力 生産方式 イ	施設トマト+水稲 (経営面積) 6.9ha 作付面積) 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 甫助 従 事 者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 (主要農機具) 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用 5条)、コンバイン(乗用 3条)、普通トラック	営農類型 経営規模 労働力	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 〈主要農機具〉 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック
営農類型 経営規模 労働 力率 生産方式 イ	施設トマト+水稲 (経営面積) 6.9ha (作付面積) 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 甫助 従 事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 (主要農機具) 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック (技術等)	営農類型 経営規模 労働力	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 (経営面積) 6.9ha (作付面積) 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 (主要農機具) 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック (技術等)
営農類型 経営規 労働 力 生産方式 イ	施設トマト+水稲 (経営面積) 6.9ha 作付面積) 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 甫助 従 事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 (主要農機具) 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック (技術等) ・水稲はカントリーエレベーター利用	営農類型 経営規模 労働力 生産方式	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha
営農類型 経営規模 労働 力割 生産方式 体 経営管理の方法	施設トマト+水稲 (経営面積) 6.9ha (作付面積) 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 甫助 従 事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、(主要農機具) 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック (技術等) ・水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	営農類型 経営規模 労働力	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 〈主要農機具〉 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック 〈技術等〉 ・水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
営農類型 経営規 労働 力割 生産方式 体質管理の方法	施設トマト+水稲 (経営面積) 6.9ha 作付面積) 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 甫助 従 事者 2人 (主要施設) 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 (主要農機具) 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック (技術等) ・水稲はカントリーエレベーター利用	営農類型 経営規模 労働力 生産方式	別経営体〕施設型 施設トマト+水稲 〈経営面積〉 6.9ha 〈作付面積〉 施設トマト 0.40ha 水稲 6.50ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 農舎(100㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟)、 〈主要農機具〉 温風暖房機(5台)、動力噴霧機(6 PS)、トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック 〈技術等〉 ・水稲はカントリーエレベーター利用 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施

+ /. ⇒⊓, ∓∪				変	更	前	
		T 14	(周則奴為井) 括	·≒л.#ii			
施設型			[個別経営体] 施				
スパラガス+水稲			型施設アスパ				
積〉 7.0ha	7	経営規		7. 0ha			
積〉 施設アスパラガス 0.50ha			〈作付面積〉				
					6. 50h	na	
		労 働					
				者 3人			
		生 産 方		2)	/ 2		
					:(500 mi×10棟	₹)	
	乗用3条)、普通トラック、動				幾(乗用5条)、	, コンバイン(乗用3条)、普通トラック
				6 PS)			
, , <u> </u>							
簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図 り	る。	経営管理の方	法 ・ 複式簿	己記帳の実施に。	より経営と家	計の分離を図る	る。
申告の実施				5の実施			
制の導入		農業従事の態様	・休日制の)導入			
朝における臨時雇用者の確保による過重労働(の防止		・農繁期に	こおける臨時雇用	用者の確保に	よる過重労働の	の防止
施設型 (ロックウール)		営 農 類	[個別経営体] 施型 施設バラ (増工)	ロックウール)			
	j	営 農 類 経 営 規	型 施設バラ (ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0). 4ha		
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha	;	営 農 類 経 営 規 労 働	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助従事	ロックウール) 0. 4ha 施設バラ 0 活 1人). 4ha		
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha		営 農 類 経 営 規	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助従事 式 〈主要施設〉	ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0 者 1人 者 1人			
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha		営 農 類 経 営 規 労 働	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助従事 式 〈主要施設〉 農舎(66㎡	ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0 活 1人 者 1人)、鉄骨硬質フィ	ィルム温室(<u>4,</u>		クウール施設、カーテン
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha		営 農 類 経 営 規 労 働	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助従事 式 〈主要施設〉 農舎(66㎡	ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0 者 1人 者 1人	ィルム温室(<u>4,</u>		クウール施設、カーテン
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha	クウール施設、カーテン装置、	営 農 類 経 営 規 労 働	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助従事 式 〈主要施設〉 農舎(66㎡ 重油タング 〈主要農機具	ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0 者 1人 者 1人 (2基)、ヒート	イルム温室(<u>4,</u> トポンプ(8・	台)	
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha 従事者 1人 事者 1人 設〉 6㎡)、鉄骨硬質フィルム温室(1,000㎡)、ロッンク(2基)、ヒートポンプ(8台) 機具〉 暖房機(4台)、冷蔵庫(2坪用)、選花機、自動	クウール施設、カーテン装置、	営 農 類 経 営 規 労 働	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助従事 式 〈主要施設〉 農舎(66㎡ 重油タング 〈主要農機具 温風式暖原	ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0 者 1人 者 1人 (2基)、 (2基)、ヒート (2基)、とート (2基)、冷臓	イルム温室(<u>4,</u> トポンプ(8・	台)	クウール施設、カーテン 動防除機、動力噴霧器(5
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha	クウール施設、カーテン装置、	営 農 類 経 営 規 労 働	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助従事 式 〈主要施設〉 農舎(66㎡ 重油身機場」 温風式暖原 軽トラック	ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0 者 1人 者 1人 (2基)、 (2基)、ヒート (2基)、とート (2基)、冷臓	イルム温室(<u>4,</u> トポンプ(8・	台)	
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha 並事者 1人 事者 1人 設〉 6㎡)、鉄骨硬質フィルム温室(1,000㎡)、ロッンク(2基)、ヒートポンプ (8台) 機具〉 暖房機(4台)、冷蔵庫(2坪用)、選花機、自動	クウール施設、カーテン装置、	営 農 類 経 営 規 労 働	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助従事 式 〈主要施設〉 農舎(66㎡ 重油タング 〈主要農機具 温風式暖原	ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0 者 1人 者 1人 (2基)、 (2基)、ヒート (2基)、とート (2基)、冷臓	イルム温室(<u>4,</u> トポンプ(8・	台)	
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha 逆事者 1人 事者 1人 設〉 6㎡)、鉄骨硬質フィルム温室(1,000㎡)、ロッンク(2基)、ヒートポンプ(8台) 機具〉 暖房機(4台)、冷蔵庫(2坪用)、選花機、自動 ック(幌付き) 、スプレー系のアーチング栽培	クウール施設、カーテン装置、 動防除機、動力噴霧器(5PS)、	営農類 経営規 労働 生産方	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付る積〉 力 主たる従事 補助要施(66㎡ 重要異式ラッ 〈主風、ラ等〉、〈技術、ション、	ロックウール) 0.4ha 施設バラ 0 者 1人 者 1人 (2基)、ヒー 以 き機(4台)、冷蔵 で(幌付き)	イルム温室(<u>4,</u> トポンプ(8・ 議庫(2坪用)、 ーチング栽培	台) 、選花機、自重	動防除機、動力噴霧器(5
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha 従事者 1人 事者 1人 設〉 6㎡)、鉄骨硬質フィルム温室(1,000㎡)、ロッンク(2基)、ヒートポンプ(8台) 機具〉 暖房機(4台)、冷蔵庫(2坪用)、選花機、自動ック(幌付き) 、スプレー系のアーチング栽培 簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る 申告の実施	クウール施設、カーテン装置、 動防除機、動力噴霧器(5PS)、	営 農類 経営 働 生産方	型 施設バラ (模 〈経営面積〉 〈作付面積〉 力 主たる従事 補助 施設〉 農舎(66㎡ 重油要農式ラット 〈技術等) ・複子 ・青色申信	ロックウール)	イルム温室(<u>4,</u> トポンプ(8・ 議庫(2坪用)、 ーチング栽培	台) 、選花機、自重	動防除機、動力噴霧器(5
(ロックウール) 積〉 0.4ha 積〉 施設バラ 0.4ha 従事者 1人 事者 1人 設〉 6㎡)、鉄骨硬質フィルム温室(1,000㎡)、ロッンク(2基)、ヒートポンプ(8台) 機具〉 暖房機(4台)、冷蔵庫(2坪用)、選花機、自動 ック(幌付き) 〉 、スプレー系のアーチング栽培 簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る	クウール施設、カーテン装置、 動防除機、動力噴霧器(5PS)、	営農類 経営規 労働 生産方	型 施設バラ (ロックウール)	イルム温室(<u>4,</u> トポンプ(8・ 蔵庫(2坪用)、 ーチング栽培 より経営と家	台) 、選花機、自動 計の分離を図る	動防除機、動力噴霧器(5
三青の枯く枯〉にの名目用	機(6 PS) は高速施肥田植機使用 はカントリーエレベーター利用 奪記記帳の実施により経営と家計の分離を図り 申告の実施	等者 1人 事者 3人 改〉 の㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟) 幾具〉 ター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、動 幾(6 PS) は高速施肥田植機使用 はカントリーエレベーター利用 等記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 申告の実施	等者 1人 事者 3人 受〉 10㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟) 幾具〉 ター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、動 幾(6 PS) は高速施肥田植機使用 はカントリーエレベーター利用 章記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 申告の実施 別の導入	 (主事者 1人事者 3人) (投) (の㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟) (株) (株) (株) (大) <	 (生事者 1人事者 3人) (少) (の㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟) (株里) (本要施設) (本要機具) (本事者 3人) (生産方式 (主要施設) (主要機具) トラクター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、動機(6 PS) (な主要機具) トラクター(25PS)、田植村の実機(6 PS) (技術等) ・水稲は高速施肥田植機(中国・水稲はカントリーエレー・水稲はカントリーエレー・水稲はカントリーエレー・水稲はカントリーエレー・水稲はカントリーエレー・水稲はカントリーエレー・水稲はカントリーエレー・水稲はカントリーエレー・大田は水田・水稲はカントリーエレー・大田はカントリーエレー・大田はカントリーエレー・大田はカントリーエレー・大田は水田・水稲はカントリーエレー・大田は水田・水稲はカントリーエレー・大田はカントリーエレー・大田は水田・水稲はカントリーエレー・大田は水田・水田は水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田は水田・水田・水田・水田・水田・水田・水田・水田・水田・水田・水田・水田・水田・水	 (生事者 1人事者 3人理) (少) (25PS) (500㎡×10棟) (株里) (25PS) (4) (25PS) (500㎡×10棟) (株里) (25PS) (4) (25PS) (25PS)	接事者 1人 事者 3人 投〉 10㎡)、ハウス施設(500㎡×10棟) 機具〉 ター(25PS)、田植機(乗用5条)、コンバイン(乗用3条)、普通トラック、動 機(6 PS) は高速施肥田植機使用 はカントリーエレベーター利用 章記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。 自告の実施 制の導入

平地農業地帯】〔個:		【平地農業			別経営体〕施設型
	施設デルフィニウム+枝物(花木)+夏秋きゅうり	営農	類		施設デルフィニウム+枝物(花木)+夏秋きゅうり
経営規模		経営	規	模	
	〈作付面積〉 施設デルフィニウム <u>0.15</u> ha				〈作付面積〉 施設デルフィニウム <u>0.11</u> ha
	枝物 (花木) 0.65ha				枝物 (花木) 0.65ha
	夏秋きゅうり 0.2 ha				夏秋きゅうり 0.2 ha
労 働 力	主たる従事者 1人	労	働	力	主たる従事者 1人
	補助従事者 2人				補助從事者 2人
生 産 方 式	\	生 産	方	式	〈主要施設〉
	作業場(40㎡)、パイプハウス(10a)、かん水装置、重油タンク、電照設備、きゅう				作業場(40㎡)、パイプハウス(10a)、かん水装置、重油タンク、電照設備、きゅう
	り支柱 (20 a)				り支柱(20 a)
	〈主要農機具〉				〈主要農機具〉
	温風式暖房機、冷蔵庫(2坪用)、動力噴霧機(5PS)、軽トラック(幌付き)、トラク				温風式暖房機、冷蔵庫(2坪用)、動力噴霧機(5PS)、軽トラック(幌付き)、トラク
	ター(13PS)、管理機				ター(13PS)、管理機
	〈技術等〉				〈技術等〉
	・デルフィニウムの促成栽培				・デルフィニウムの促成栽培
				- 1	・冷房育苗苗購入利用(品種:さくらひめ)
	・冷房育苗苗購入利用(品種:さくらひめ)				
経営管理の方法	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。	経営管	理のプ	法	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。
	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施				・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施
経営管理の方法農業従事の態様等	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入	農業従輩	事の態	議等	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入
農業従事の態様等 平地農業地帯】〔個〕 営農類型 経営規模 	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha	農業従事 【平地農業 営 農経 営	事の態材 巻地帯】 類 規	(個) 型 模	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha
農業従事の態様等 P地農業地帯】〔個5 営農類型 経営規模	 複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 <経営面積〉 0.4ha <作付面積〉 花壇苗 0.4ha < 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 	農業従事とは、大学の関係を表現して、大学のでは、大学の研究を表現して、大学のでは、生育を表現して、大学のでは、大学のいいないが、大学のでは、生のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、生のないのでは、生のいいないが、生のないのでは、生のいいないないが、生のいのでは、生のいいのでは、	事の態 美地帯】 類 規	(新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年)	 複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人
農業従事の態様等	 複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 	農業従事とは、大学の関係を表現して、大学のでは、大学の研究を表現して、大学のでは、生育を表現して、大学のでは、大学のいいないが、大学のでは、生のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、生のないのでは、生のいいないが、生のないのでは、生のいいないないが、生のいのでは、生のいいのでは、	事の態 美地帯】 類 規	(新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年)	 複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉
農業従事の態様等 P地農業地帯】〔個5 営農類型 経営規模	 複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 	農業従事とは、大学の関係を表現して、大学のでは、大学の研究を表現して、大学のでは、生育を表現して、大学のでは、大学のいいないが、大学のでは、生のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、生のないのでは、生のいいないが、生のないのでは、生のいいないないが、生のいのでは、生のいいのでは、	事の態 美地帯】 類 規	(新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年)	 複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク
農業従事の態様等 Z地農業地帯】〔個5 営農類型 経営規模 所働力	 複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 	農業従事とは、大学の関係を表現して、大学のでは、大学の研究を表現して、大学のでは、生育を表現して、大学のでは、大学のいいないが、大学のでは、生のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、生のないのでは、生のいいないが、生のないのでは、生のいいないないが、生のいのでは、生のいいのでは、	事の態 美地帯】 類 規	(新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年)	 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉
農業従事の態様等工地農業地帯】〔個!営農類型経営規模労働力	 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、ポ 	農業従事とは、大学の関係を表現して、大学のでは、大学の研究を表現して、大学のでは、生育を表現して、大学のでは、大学のいいないが、大学のでは、生のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、生のないのでは、生のいいないが、生のないのでは、生のいいないないが、生のいのでは、生のいいのでは、	事の態 美地帯】 類 規	(新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年)	 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、2
農業従事の態様等工地農業地帯】〔個!営農類型経営規模労働力	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、ポッティングマシーン、フロントローダー	農業従事とは、大学の関係を表現して、大学のでは、大学の研究を表現して、大学のでは、生育を表現して、大学のでは、大学のいいないが、大学のでは、生のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、生のないのでは、生のいいないが、生のないのでは、生のいいないないが、生のいのでは、生のいいのでは、	事の態 美地帯】 類 規	(新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年)	 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、フッティングマシーン、フロントローダー
農業従事の態様等工地農業地帯】〔個!営農類型経営規模労働力	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、ポッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉	農業従事とは、大学の関係を表現して、大学のでは、大学の研究を表現して、大学のでは、生育を表現して、大学のでは、大学のいいないが、大学のでは、生のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、生のないのでは、生のいいないが、生のないのでは、生のいいないないが、生のいのでは、生のいいのでは、	事の態 美地帯】 類 規	(新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年) (新年)	 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、カッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉
 農業従事の態様等 本地農業地帯】〔個〕 営農類型 経営規模 労働力 主産方式 	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、ポッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉 ・パンジー、ビンカ等の苗物生産	農業従事とは、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	事の態構類規働方	等 個型 模 力 式	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、スッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉 ・パンジー、ビンカ等の苗物生産
農業従事の態様等 ・地農業地帯】 (個) ・ 農 類 型 ・ 関 規 模 ・ ・ 働 力 ・ 産 方 式	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、ポッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉 ・パンジー、ビンカ等の苗物生産 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。	農業従事とは、大学の関係を表現して、大学のでは、大学の研究を表現して、大学のでは、生育を表現して、大学のでは、大学のいいないが、大学のでは、生のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、生のないのでは、生のいいないが、生のないのでは、生のいいないないが、生のいのでは、生のいいのでは、	事の態構類規働方	等 個型 模 力 式	 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助 従事 者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5 PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、スッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉 ・パンジー、ビンカ等の苗物生産 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。
 農業従事の態様等 ア地農業地帯】〔個〕 農類型 経営規模 労働力 主産方式 経営管理の方法 	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、ポッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉 ・パンジー、ビンカ等の苗物生産 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施	農業従事ととは、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	事の態 機 機 力 の の の の の の の の の の の の の の の の の	等 個型 模 力 式 法	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、スッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉 ・パンジー、ビンカ等の苗物生産 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施
農業従事の態様等 平地農業地帯】〔個〕 営 農 類 型 経 営 規 模	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助 従事者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、ポッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉 ・パンジー、ビンカ等の苗物生産 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。	農業従事とは、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	事の態 機 機 力 の の の の の の の の の の の の の の の の の	等 個型 模 力 式 法	・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告の実施 ・休日制の導入 別経営体〕施設型 施設花壇苗 〈経営面積〉 0.4ha 〈作付面積〉 花壇苗 0.4ha 主たる従事者 1人 補助 従事 者 2人 〈主要施設〉 作業場(40㎡)、APハウス(4,000㎡)、播種プラント、ベンチ、重油タンク 〈主要農機具〉 温風式暖房機(4台)、動力噴霧機(5PS)、普通トラック(幌付き)、用土混合機、オッティングマシーン、フロントローダー 〈技術等〉 ・パンジー、ビンカ等の苗物生産 ・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を図る。

	変更後					変更前
【平地農業地帯】「細	織経営体〕土地利用型	 【亚 +	れ農業·		「絽糸	織経営体〕土地利用型
営 農 類 型	水稲+麦+大豆+水稲作業受託	営	農	類	型	水稲+麦+大豆+水稲作業受託
経 営 規 模		経	営	規	模	
	(作 付 面 積) 水稲 35.0ha					〈作 付 面 積〉 水稲 35.0ha
	<u>はだか</u> 麦 20.0ha					麦 20.0ha
	大豆 20.0ha 〈作業受託面積〉 30.0ha(田植え15.0ha、収穫15.0ha)					大豆 20.0ha /版类系式克德》 20.0ha (四種文15.0ha /四種15.0ha)
		774	ŀ	EL.	-1	〈作業受託面積〉 30.0ha(田植え15.0ha、収穫15.0ha) 主たる従事者 4人
労 働 力	主たる従事者 4人 補助従事者 4人	労	偱	刿	JJ	本にの使事有 4人
生産方式		<i>H</i> -	杂	+	_ +	〈主要施設〉
	(主安旭政/ 農舎(350㎡)		生	JJ	17	(主安旭改/ 農舎(350 m²)
						〈主要農機具〉
	〈王安辰(城兵/ トラクター(33PS、2台)、トラクター(50PS、2台)、田植機(側条施肥機付き乗用 6					、王安展版系/ トラクター(30PS、2台)、トラクター(50PS、2台)、田植機(側条施肥機付き乗用6
	条、4台)、コンバイン(乗用5条、2台)、汎用コンバイン(2台)、普通トラック(2					条、4台)、コンバイン(乗用5条、2台)、汎用コンバイン(2台)、普通トラック(2)
	t、2台)、ロータリーハロー(2台)、ライムソアー、大豆選 <mark>別</mark> 機(2台)、大豆乾燥					t、2台)、ロータリーハロー(2台)、ライムソアー、大豆選粒機(2台)、大豆乾燥
	機(2台)、麦大豆播種機(2台)、ブームスプレイヤー(2台)、ブロードキャスター、					機(2台)、麦大豆播種機(2台)、ブームスプレイヤー(2台)、ブロードキャスター、
	溝掘機、ロータリーカルチベーター、搬送用コンテナ					溝掘機、ロータリーカルチベーター、搬送用コンテナ
	〈技術等〉					〈技術等〉
	・水稲はヘリ防除、高速施肥田植機使用					・水稲はヘリ防除、高速施肥田植機使用
	・水稲、 <mark>はだか</mark> 麦はカントリーエレベーター利用					・水稲、裸麦はカントリーエレベーター利用
経営管理の方法		経	営管理	里の力	法	・経営体の体質強化のため、自己資本の充実を図る。
農業従事の態様等		農	業従事	の態構	美等	・従事者全員の社会保険への加入
	・労働環境の快適化を進めるため農作業環境の改善を図る。					・労働環境の快適化を進めるため農作業環境の改善を図る。

変	変 前
【県全域】〔個別経営体〕畜産	【県全域】〔個別経営体〕畜産
営農類型 酪農	営農類型 酪農
経 営 規 模 〈飼養頭数〉 経産牛 50頭、育成牛 25頭	│ 経 営 規 模 │〈飼養頭数〉 経産牛 50頭、育成牛 25頭
〈自給飼料〉 飼料作物 10.0ha	〈自給飼料〉 飼料作物 10.0ha
トウモロコシ <u>10.0</u> ha	トウモロコシ <u>5.0ha、イタリアン 5.0ha</u>
〈コントラクター〉 WCS 7.0ha	〈コントラクター〉 WCS 7.0ha
労 働 力 主たる従事者 1人	労 働 力 主たる従事者 1人
補助従事者 2人	補助従事者 2人
生産方式(主要施設)	生産方式(主要施設)
搾乳牛舎(500㎡)、育成牛舎D型ハウス(200㎡)、堆肥舎(280㎡)、尿溜、飼料タン	搾乳牛舎(500㎡)、育成牛舎D型ハウス(200㎡)、堆肥舎(280㎡)、尿溜、飼料タン
ク(5 t 用)	ク(5 t 用)
〈主要農機具〉	〈主要農機具〉
パイプラインミルカー、バルククーラー(2,000) 、バーンクリーナー	パイプラインミルカー、バルククーラー(2,000 ½)、バーンクリーナー
〈共同所有〉	〈共同所有〉
トラクター(45PS)、トラック、ディスクハロー、ロールベーラー、マニュアスプレ	トラクター(45PS)、トラック、ディスクハロー、ロールベーラー、マニュアスプレ
ッダー、ブロードキャスター、コーンハーベスター、ベールグラブ、ホイルローダ	ッダー、ブロードキャスター、ヘーレーキ、コーンハーベスター、汎用型収穫機械、
一、プラウ、高圧洗浄機	ベールグラブ、ラッピングマシン、ホイルローダー、プラウ、高圧洗浄機
〈技術等〉	
・バーンクリーナー、パイプライン利用	・バーンクリーナー、パイプライン利用
・5戸で飼料作物生産組合を組織し、機械を共同利用	・5戸で飼料作物生産組合を組織し、機械を共同利用
経営管理の方法・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
・青色申告の実施	性 1 th 1
・耕畜連携による飼料作物生産・調製コントラクター組織等の育成と作業委託によ	・
る良質な自給飼料の生産・利用拡大を図る。 農業従事の態様等 ・ヘルパーの活用による定期的な休日、休暇の確保	る良質な自給飼料の生産・利用拡大を図る。 農業従事の態様等 ・ヘルパーの活用による定期的な休日、休暇の確保
展末に事り意味す	
【県全域】〔個別経営体〕畜産	【県全域】〔個別経営体〕畜産
営 農 類 型 肉用牛 (繁殖一貫)	営農類型 肉用牛 (繁殖一貫)
経 営 規 模 〈飼養頭数〉 繁殖牛・子牛 <u>25</u> 頭、肥育牛 <u>53</u> 頭	経 営 規 模 〈飼養頭数〉 繁殖牛・子牛 <u>18</u> 頭、肥育牛 <u>56</u> 頭
〈自給飼料〉 飼料作物 3.8ha	
スーダン等 0.8ha、稲わら 3.0ha	スーダン等 0.8ha、稲わら 3.0ha
〈コントラクター〉 稲わら等 9.2ha	〈コントラクター〉 稲わら等 9.2ha
労 働 力 主たる従事者 1人	労 働 力 主たる従事者 1人
補助従事者 1人	
生産方式〈主要施設〉	生産方式〈主要施設〉
繁殖牛舎(400㎡)、肥育牛舎(353㎡)、堆肥舎(160㎡)、飼料タンク(5 t 用)、	
〈主要農機具〉	カーサイロ (30㎡)
トラック	〈主要農機具〉
〈共同所有〉	トラック
トラクター(40PS)、フロントローダー、ロールベーラー、モアコンディショナー、	
ブロードキャスター、ベールグラブ	
	ブロードキャスター、ヘーレーキ
・5 戸で飼料作物生産組合を組織し、機械を共同利用	
・夏山冬里方式による放牧の実施	
	- 1 ・ 5 戸で飼料作物生産組合を組織し、機械を共同利用 - 夏山冬里方式による放牧の実施
経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	
・青色申告の実施 ・青色申告の実施 ・ 青色中生の実施 ・ オタントス 知り ケヤ ・	経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
・耕畜連携による飼料作物生産・調製コントラクター組織等の育成と作業委託による原料の生産・調製の大き、利用技力な図ス	・青色申告の実施 ・・青色申告の実施 ・・オス声性による知识な物と充っます。これは、知覚なる方式となった。
る良質な自給飼料の生産・利用拡大を図る。	・耕畜連携による飼料作物生産・調整コントラクター組織等の育成と作業委託によ
農業従事の態様等 ・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保	る良質な自給飼料の生産・利用拡大を図る。
	農業従事の態様等 ・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保

	変	変更前
	从 文本	
【県全域】〔個別経営 営農類型	肉用牛(肉専用種肥育)	 【県全域】[個別経営体] 畜産
経営規模		営農類型 肉用牛(肉専用種肥育)
	〈自給飼料〉 飼料作物 2.2ha	経 営 規 模 〈飼養頭数〉 肉用牛 125頭
	イタリアン 1.1ha、スーダン 1.1ha	〈自給飼料〉 飼料作物 2.2ha
	〈コントラクター〉 稲わら等 18.5ha	イタリアン 1.1ha、スーダン 1.1ha
労 働 力	主たる従事者 1人	〈コントラクター〉 稲わら等 18.5ha
	補助従事者 1人	労
生 産 方 式		補助従事者 1人
	牛舎(706㎡)、堆肥舎(260㎡)、飼料タンク(5 t 用)	生産方式(主要施設)
	〈主要農機具〉	牛舎(706㎡)、堆肥舎(260㎡)、飼料タンク(5 t 用)
	トラック	〈主要農機具〉
	(共同所有)	トラック
	トラクター(<u>45</u> PS)、ロールベーラー、モアコンディショナー、マニュアスプレッダ	
	ー、ブロードキャスター、ヘーレーキ 〈技術等〉	ー、ブロードキャスター、ヘーレーキ
	- ・飼料作物栽培用機械を共同利用	一、フロードギャスター、パーレーギ
	・黒毛和種去勢牛 280kg約8か月齢を導入し、27か月齢で出荷	・飼料作物栽培用機械を共同利用
経営管理の方法		・黒毛和種去勢牛 270kg約8か月齢を導入し、26か月齢で出荷
配合自在の方は	・青色申告の実施	経営管理の方法・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
	・耕畜連携による飼料作物生産・調製コントラクター組織等の育成と作業委託によ	・青色申告の実施
	る良質な自給飼料の生産・利用拡大を図る。	・耕畜連携による飼料作物生産・調整コントラクター組織等の育成と作業委託によ
農業従事の態様等	・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保	る良質な自給飼料の生産・利用拡大を図る。
		農業従事の態様等・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保

【県全	域】	〔個別	経営	体〕畜産
営	農	類	型	肉用牛(交雑種肥育一貫)
経	営	規	模	〈飼養頭数〉 肉用牛 <u>300</u> 頭
				〈自給飼料〉 飼料作物 6.0ha
				イタリアン 3.0ha、スーダン 3.0ha
				〈コントラクター〉 稲わら等 36.0ha
労	倬	動	力	主たる従事者 1人
				補助従事者 1人
生	産	方	式	〈主要施設〉
				肥育牛舎(1,059㎡)、育牛舎(200㎡)、堆肥舎(520㎡)、飼料タンク(5 t 用)
				〈主要農機具〉
				トラック
				〈共同所有〉
				トラクター(40PS)、フロントローダー、ロールベーラー、モアコンディショナー、
				マニュアスプレッダー、ブロードキャスター、ヘーレーキ
				〈技術等〉
				・飼料作物栽培用機械を共同利用
				・ほ育は、導入から2か月間カーフハッチ方式で個体管理
				・ヌレ子を導入し、ほ育から肥育までの一貫(平均出荷月齢 <mark>24</mark> か月)
経営	管理	里の力	テ法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
				・青色申告の実施
				・耕畜連携による飼料作物生産・調 <mark>製</mark> コントラクター組織等の育成と作業委託によ

る良質な自給飼料の生産・利用拡大を図る。

農業従事の態様等・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保

更

変

【県全域】〔個別経営体〕畜産

営	農	類	型	養豚 (一貫)					
経	営	規	模	〈飼養頭数〉	重雌豚	160頭	種雄豚	12頭	
				月	巴育豚	1,600頭			
労	負	助	力	主たる従事者	1人				
				補助従事者	1人				
生	産	方	式	〈主要施設〉					
				繁殖豚舎(575r	n²)、育原	戈豚舎(160m	î)、肥育豚舎	(908㎡)、農舎(20	00㎡)、堆肥舎(450
				㎡)、尿貯留槽	$(30 \mathrm{m}^3)$	糞尿処理的	施設		
				〈主要農機具〉					
				自動配餌シスラ	テム、飼	料タンク			
				〈技術等〉					
				・分娩豚房は高	高床式で	21日離乳			
				・肥育は雌雄別	別飼い。	ウェットフ	ィーディング	導入	
				・ランドレース	ス (L)	と大ヨーク	シャー (W) (の交雑雌(LW)	に種雄豚デュロッ
				<u>ク(D)の3元</u>	肥育豚	(LWD)			
経言	営管理	里のナ	方法	• 複式簿記記帧	長の実施	により経営	と家計の分離	を図る。	
				・青色申告の第	実施				
農業	Ě従事	の態	兼等	・雇用の確保に	こよる定	期的な休日	、休暇の確保		

甩 夕ぱ】	「個別級党休〕	玄莊

【県全	主 域	[個別]	経宮	体) 台 连
営	農	類	型	肉用牛(交雑種肥育一貫)
経	営	規	模	〈飼養頭数〉 肉用牛 <u>250</u> 頭
				〈自給飼料〉 飼料作物 6.0ha
				イタリアン 3.0ha、スーダン 3.0ha
				〈コントラクター〉 稲わら等 36.0ha
労	1	動	力	主たる従事者 1人
				補助従事者 1人
生	産	方	式	〈主要施設〉
				肥育牛舎(1,059㎡)、育牛舎(200㎡)、堆肥舎(520㎡)、飼料タンク(5 t 用) <u>、バン</u>
				<u>カーサイロ(30m³)</u>
				〈主要農機具〉
				トラック
				〈共同所有〉
				トラクター(40PS)、フロントローダー、ロールベーラー、モアコンディショナー、
				マニュアスプレッダー、ブロードキャスター、ヘーレーキ
				〈技術等〉
				・ 飼料作物栽培用機械を共同利用
				・ほ育は、導入から2か月間カーフハッチ方式で個体管理
				・ヌレ子を導入し、ほ育から肥育までの一貫(平均出荷月齢23か月)
経常	営管理	埋の力	方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
				・青色申告の実施
				・耕畜連携による飼料作物生産・調整コントラクター組織等の育成と作業委託によ
				る良質な自給飼料の生産・利用拡大を図る。
農業	 	の態材	羕等	・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保

更

前

【県全域】〔個別経営体〕畜産

営	農	類	型	養豚 (一貫)
経	営	規	模	〈飼養頭数〉 種雌豚 160頭 種雄豚 12頭
				肥育豚 1,600頭
労	負	助	力	主たる従事者 1人
				補助従事者 1人
生	産	方	式	〈主要施設〉
				繁殖豚舎(575 m²)、育成豚舎(160 m²)、肥育豚舎(908 m²)、農舎(200 m²)、堆肥舎(4
				m²)、尿貯留槽(30 m³)、糞尿処理施設
				〈主要農機具〉
				自動配餌システム、飼料タンク
				〈技術等〉
				・分娩豚房は高床式で21日離乳
				・肥育は雌雄別飼い。ウェットフィーディング導入
				・ 種雄豚デュロック、種雌豚ランドレースの肥育豚 3 元
経営	管理	里の力	方法	・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
				・青色申告の実施
農業	従事	の態	兼等	・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保

	変 更 前
県全域 】 〔個別経営体〕畜産	【県全域】〔個別経営体〕畜産
営 農 類 型 養鶏 (採卵鶏)	営農類型養鶏(採卵鶏)
経 営 規 模 〈飼養頭数〉 成鶏 30,000羽	経 営 規 模 〈飼養頭数〉 成鶏 30,000羽
育成鶏 15,000羽	育成鶏 15,000羽
労働力 主たる従事者 1人	労 働 力 主たる従事者 1人
補助従事者 1人	補助従事者 1人
E 産 方 式 〈主要施設〉	生産方式(主要施設)
中・大雛舎(300㎡)、成鶏舎(588㎡)、管理舎(50㎡)、糞尿処理施設(360㎡)、飼料	中・大雛舎(300㎡)、成鶏舎(588㎡)、管理舎(50㎡)、糞尿処理施設(360㎡)、飼料
タンク(3t用)	タンク(3t用)
〈主要農機具〉	〈主要農機具〉
自動給餌機、トラック、ショベルローダー、洗卵選別機、鶏糞袋詰機、ミシン	自動給餌機、トラック、ショベルローダー、洗卵選別機、鶏糞袋詰機、ミシン
〈技術等〉	〈技術等〉
・ウィンドレス鶏舎、全自動化	・ウィンドレス鶏舎、全自動化
・40日齢導入、140日齢成鶏繰入、22か月齢オールアウト	・40日齢導入、140日齢成鶏繰入、22か月齢オールアウト
経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。
・青色申告の実施	・青色申告の実施
農業従事の態様等 ・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保	│ │ 農業従事の態様等 │ ・雇用の確保による定期的な休日、休暇の確保
県全域】 [個別経営体] 畜産 営 農 類 型 養鶏 (ブロイラー) 経 営 規 模 〈飼養頭数〉 ブロイラー 45 000羽	【県全域】〔個別経営体〕畜産 営 農 類 型 養鶏 (ブロイラー)
営 農 類 型 養鶏(ブロイラー) 経 営 規 模 〈飼養頭数〉 ブロイラー 45,000羽 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 本	【県全域】[個別経営体〕畜産 営 農 類 型 養鶏 (ブロイラー) 経 営 規 模 〈飼養頭数〉 ブロイラー 40,000羽 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 生 産 方 式 〈主要施設〉 鶏舎 (2,928㎡)、管理舎・農機具庫 (100㎡)、鶏糞堆積場 〈主要農機具〉 飼料タンク(3t用)、自動給餌機、自動給水機、ショベルローダー、トラック、鶏 糞袋詰機、ミシン 〈技術等〉
大	【県全域】[個別経営体] 畜産 営 農 類 型 養鶏 (ブロイラー) 経 営 規 模 〈飼養頭数〉 ブロイラー 40,000羽 労 働 力 主たる従事者 1人 相助 従事者 1人 生 産 方 式 〈主要施設〉 鶏舎 (2,928㎡)、管理舎・農機具庫 (100㎡)、鶏糞堆積場 〈主要農機具〉 飼料タンク(3t用)、自動給餌機、自動給水機、ショベルローダー、トラック、鶏糞袋詰機、ミシン 〈技術等〉 ・平飼い
農 類 型 養鶏 (ブロイラー)	【県全域】 [個別経営体] 畜産
 農類型養鶏(ブロイラー) 営規模 (飼養頭数) ブロイラー 45,000羽 一働力 主たる従事者 1人補助従事者 1人 主要施設) 鶏舎(2,928㎡)、管理舎・農機具庫(100㎡)、鶏糞堆積場(主要農機具) 飼料タンク(3t用)、自動給餌機、自動給水機、ショベルローダー、トラック、鶏糞袋詰機、ミシン(技術等)・平飼い・オールイン・オールアウト方式・雌雄別飼い 	【県全域】 [個別経営体] 畜産
 農類型養鶏(ブロイラー) 園力主たる従事者 1人補助従事者 1人補助従事者 1人 産方式 〈主要施設〉 鶏舎(2,928㎡)、管理舎・農機具庫(100㎡)、鶏糞堆積場〈主要農機具〉 飼料タンク(3t用)、自動給餌機、自動給水機、ショベルローダー、トラック、鶏糞袋詰機、ミシン〈技術等〉・平飼い・オールイン・オールアウト方式・雌雄別飼い・常時4.5万羽飼育の年4回転 	【県全域】〔個別経営体〕畜産
 芸 農 類 型 養鶏 (ブロイラー) 査 規 模 〈飼養頭数〉 ブロイラー 45,000羽 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 主 産 方 式 〈主要施設〉 鶏舎 (2,928㎡)、管理舎・農機具庫 (100㎡)、鶏糞堆積場 〈主要農機具〉 飼料タンク(3t用)、自動給餌機、自動給水機、ショベルローダー、トラック、鶏 糞袋詰機、ミシン 〈技術等〉 ・平飼い ・オールイン・オールアウト方式 ・雌雄別飼い ・常時4.5万羽飼育の年4回転 	【県全域】 [個別経営体] 畜産
営 規 類 型 養鶏(ブロイラー) 経 営 規 模 〈飼養頭数〉 ブロイラー 45,000羽 労 働 力 主たる従事者 1人 補助従事者 1人 生 産 方 式 〈主要施設〉 鶏舎 (2,928㎡)、管理舎・農機具庫 (100㎡)、鶏糞堆積場 〈主要農機具〉 飼料タンク(3t用)、自動給餌機、自動給水機、ショベルローダー、トラック、鶏 糞袋詰機、ミシン 〈技術等〉 ・平飼い ・オールイン・オールアウト方式 ・雌雄別飼い ・常時4.5万羽飼育の年4回転 経営管理の方法 ・複式簿記記帳の実施により経営と家計の分離を図る。	【県全域】[個別経営体] 畜産